



2023年度
事業報告書

学校法人 桃山学院

| CONTENTS

2023年度の事業報告にあたって…	01	II. 事業の概要 ……………	05	III. 財務の概要 ……………	08
1. 法人の概要 ……………	02	1. 桃山学院将来構想		IV. データで見る桃山学院 ……………	21
		2. 桃山学院大学			
		3. 桃山学院教育大学			
		4. 桃山学院中学校高等学校			



2023年度の事業報告にあたって

学校法人桃山学院 理事長 出田 善蔵

桃山学院は1884年、英国聖公会宣教協会（CMS）が大阪の川口外国人人居留地（大阪市西区）に三一小学校（男子英学校）を創設したことに端を発し、今年で学院創立140周年を迎えます。幾多の変遷を経て、昭和町キャンパスに中学校と高等学校および桃山学院大学ビジネスデザイン学部、和泉キャンパスに桃山学院大学と大学院、堺キャンパスに桃山学院教育大学を設置するに至っております。各設置学校において、一貫して建学の主旨であるキリスト教精神に基づいた教育を行い、永い歴史のなかで優秀な卒業生を多数輩出し、社会から高い評価を得てきたことは、ステークホルダーの皆さまの変わらぬご尽力の賜と心より感謝申し上げます。

2023年度は、新たな5カ年計画である「桃山学院将来構想」の開始年度となりました。本構想では、「パーパス（教育機関としての存在意義）を「私たちは、キリスト教精神に基づく教育を通じて、社会課題の解決を目指す高い志と奉仕の心をもった人（サーバント・リーダー）を育て、持続可能な地域共生社会を実現します。」と定め、全世代型の教育機関への転換と持続可能な地域社会の実現に貢献することを宣言しております。

将来構想の下、人口減少などに伴う社会経済状況の変化に対して、この数年を持続可能な学院へと着実に歩みを進めるための基盤を築く機会ととらえ、様々な改革に着手してまいりました。具体的には、2024年11月の竣工に向けて、和泉キャンパスに環境に配慮した木造3階建ての新校舎を建設中です。また、2025年度に桃山学院大学と桃山学院教育大学を統合し、桃山学院教育大学の教育・研究の拠点を和泉キャンパスに集約することを決定いたしました。さらに、大学・高専機能強化支援事業への申請・採択を受け、2026年度の開設を目標に桃山学院大学としては初となる理系新学部の設置構想も進めております。

予測困難で変化の激しい現代において、人材育成の点からも教育研究機関への期待が大きくなる一方で、少子化や経済状況の影響等により、私学をとりまく環境は年々厳しさを増し、国際情勢悪化の影響はまだ続くものと想定されますが、本学院としましては、学院の持続性および発展性を担保し、かつ教育・研究活動の環境整備を支える堅固な財務基盤の構築を目指し、引き続き取り組んでまいります。皆さまの一層のご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

本学院の主な取り組み

○事業計画と予算にかかるPDCAについて

理事会は、策定された事業計画に対してPDCAサイクルをまわしていくためにモニタリングを実施し、理事会および評議員会を中心にモニター情報を報告してきました。掲げた目標に対して進捗状況を共有することができ、計画に対しての実行を促進することができました。今後もより一層モニタリングの仕組みの構築に取り組み、掲げた目標が達成されるよう取り組んでまいります。

○キャンパス整備について

中長期保全計画にもとづき、安全確保、学生・生徒の満足度、快適性向上に資する改修を行いました。和泉キャンパスにおいては、聖トマス館及び教室棟の照明LED化工事、聖アンデレ館の外壁改修工事、図書館ホールの改修工事を実施しました。また、和泉キャンパスの省エネに向けたエネルギーマネジメントや学生の就職活動におけるオンライン面接などに対応するための個人ワークブースを導入しました。

○ガバナンスの整備と職員人事制度改革について

2017年に制定した学校法人桃山学院「ガバナンスの方針」に基づき、ガバナンス検討会議より答申された具体案をもとに、2022年度において、役員損害賠償責任などに関する取り扱いを責任限定契約とする寄附行為の変更を行いました。

また、2021年度より、法人・桃山学院大学の専任職員を対象に、本俸等の改訂を含む新たな職員人事制度を導入し、大学教員においては、人事制度改革について継続的に検討を進めており、2024年度新規採用者から新たな給与体系を導入いたします。

その他、桃山学院将来構想に係る具体的な取り組みについては「事業の概要」にも記載しております。



I. 法人の概要

I. 法人の概要

1. 建学の精神

学校法人桃山学院の寄附行為には、「この法人は建学の主旨たるキリスト教精神に基づき、教育基本法、学校教育法および私立学校法に則り教育事業を行うことを目的とする。」(第3条第1項)と定められています。

■ 桃山学院の「キリスト教精神」—自由と愛の精神

桃山学院の学院章には、“SEQUIMINI ME” (我に従え) という言葉が刻まれています。それはアンデレがイエスに従ったように、「自由と愛の精神」をもって生きることです。使徒パウロが書いています。

「あなたがたは、自由を得るために召し出されたのです。ただ、この自由を、肉に罪を犯させる機会とせず、愛によって互いに仕えなさい。」(ガラテヤの信徒への手紙5章13節)

自由には他者への愛と責任がともないます。「自由」とはひとりひとりの人格と主体性を尊重すること、「愛」とは互いに仕えあいながら他者と共に生きることです。この「自由と愛の精神」は、たんにキリスト教の立場だけではなく、すべての人間が一致しうる普遍的な理念であり、人類共通の目標です。

人間のそのような可能性を開花させながら、高い理想をめざしてチャレンジしつづけていくこと、それこそが桃山学院の一世紀を超える伝統がめざそうとする「キリスト教精神」であり、「世界の市民」への道なのです。

■ 桃山学院の「学院章」



この学院章は、イエス・キリストの最初の弟子である聖アンデレ (St. Andrew) にちなんでデザインされている。「アンデレ・クロス」(X字型の十字架) は、イエスの教えを守り通して殉教したアンデレの偉大な生涯のシンボルである。「SEQUIMINI ME」(「我に従え」というラテン語) は、アンデレがイエスに出会った時に呼びかけられた言葉である。したがって学院章は、アンデレのように最後まで「自由と愛」のキリスト教精神によって生きることを示している。

2. 沿革

- | | | | |
|-------|--|-------|--|
| 1884年 | 英国聖公会宣教協会(CMS)、大阪川口居留地(大阪市西区川口)に三一小学校(Boys' School)創設 | 2001年 | 桃山学院高等学校、国際コース設置(男女共学) |
| 1890年 | 高等英学校、西区江戸堀の仮校舎で開校(同年末天王寺区筆ヶ崎崎に移転、翌年1月新校舎開校式挙行) | 2002年 | 桃山学院大学、法学部法律学科設置/桃山学院大学大学院、経済学研究科応用経済学専攻(博士後期課程)設置 |
| 1895年 | 高等英学校を桃山学院に改称 | 2003年 | 桃山学院大学大学院、社会学研究科応用社会学専攻(博士後期課程)設置 |
| 1896年 | 桃山学院に改称 | 2006年 | 桃山学院大学、経済学部経済学科中国ビジネスキャリアコース設置/桃山学院大学大学院、経営学研究科経営学専攻日中連携ビジネスコース設置(2018年廃止)、文学研究科英語英米文学専攻・比較文化学専攻を英語圏文化学専攻・国際文化学専攻・応用言語学専攻の3専攻に改組 |
| 1902年 | 中学校令による認可を受け、私立桃山中学校開校(※大阪で最初の私立中学校) | 2007年 | 桃山学院高等学校、S英数コース設置(男女共学)、標準コースにアスリートクラス設置、英数コースを男女共学化 |
| 1912年 | 現昭和町キャンパス(大阪市阿倍野区)に移転 | 2008年 | 桃山学院中学校開校(昭和町キャンパス)/桃山学院大学、文学部を国際教養学部に変更 |
| 1947年 | 新制桃山中学校発足 | 2009年 | 学院創立125周年・大学開学50周年記念式典挙行、記念式典に英国聖公会カンタベリー大主教(Dr. Geoffrey Francis Fisher)臨席 |
| 1948年 | 新制桃山高等学校発足 | 2011年 | 桃山学院高等学校、標準コースを文理コースに改称(同時に男女共学化) |
| 1949年 | 桃山学院高等学校、桃山学院中学校に校名変更 | 2012年 | 桃山学院大学大学院、文学研究科英語圏文化学専攻・国際文化学専攻・応用言語学専攻(博士前期課程)を比較文化学専攻に改組 |
| 1951年 | 学校法人桃山学院認可 | 2015年 | 桃山学院大学、国際教養学部国際教養学科を英語・国際文化学科に改称 |
| 1959年 | 桃山学院大学(経済学部経済学科)、昭和町キャンパスで開学。開学式に英国聖公会カンタベリー大主教(Dr. Geoffrey Francis Fisher)臨席 | 2017年 | ブル学院大学の設置者を本学院に変更する申請が認可 |
| 1962年 | 桃山学院英語学校開校(1983年閉校) | 2018年 | 桃山学院教育大学(教育学部教育学科)、堺キャンパス(堺市南区横塚台)で開学/桃山学院大学大学院、文学研究科比較文化学専攻(博士前期課程)を言語・文化専攻に改称 |
| 1966年 | 桃山学院大学、社会学部社会学科設置 | 2019年 | 桃山学院大学、本町BDL(ビジネスデザインラボ、大阪市中央区)に経営学部ビジネスデザイン学科設置(増設)、学院創立135周年・大学開学60周年 |
| 1971年 | 桃山学院大学、登美丘キャンパス(堺市東区西野)に学舎統合 | 2020年 | 桃山学院教育大学、教育学部教育学科を人間教育学部人間教育学科に改称/桃山学院大学、経営学部ビジネスデザイン学科をあべのBDL(ビジネスデザイン・ラボ、大阪市阿倍野区)に移転 |
| 1973年 | 桃山学院大学、経営学部経営学科設置/桃山学院短期大学開学(1990年閉学) | 2021年 | 桃山学院大学、ビジネスデザイン学部ビジネスデザイン学科設置(経営学部ビジネスデザイン学科より改組) |
| 1984年 | 学院創立100周年記念式典 | 2022年 | 桃山学院大学、社会学部社会福祉学科をソーシャルデザイン学科に改称 |
| 1987年 | 桃山学院高等学校、英数コース設置/桃山学院大学、チャペル地割式に英国聖公会カンタベリー大主教(Dr. Robert Runcie)臨席 | | |
| 1989年 | 桃山学院大学、文学部英語英米文学科・国際文化学科設置 | | |
| 1993年 | 桃山学院大学大学院、文学研究科英語英米文学専攻・国際文化学専攻(修士課程)、経営学研究科経営学専攻(修士課程)設置 | | |
| 1995年 | 桃山学院大学および法人事務局、和泉キャンパス(和泉市まなび野)に全面移転 | | |
| 1998年 | 桃山学院大学、社会学部社会福祉学科設置(増設)/桃山学院大学大学院、経済学研究科応用経済学専攻(修士課程)設置 | | |
| 1999年 | 桃山学院大学大学院、文学研究科比較文化学専攻(博士後期課程)、経営学研究科経営学専攻(博士後期課程)設置 | | |
| 2000年 | 桃山学院大学大学院、社会学研究科応用社会学専攻(修士課程)設置 | | |



■ 聖公会とは

聖公会とは、ローマ・カトリックとプロテスタントに大別される西方キリスト教会の中で、両者の要素を兼ね備えた英国聖公会（Church of England）の流れをくむ教派です。現在、ヨーロッパ、南北アメリカ、アフリカ、アジア、太平洋など世界約165ヶ国の国々で活動を展開し、約8,500万人の信徒数を有する組織で、カンタベリー大主教（現在のカンタベリー大主教は、ジャスティン・ウェルビー主教で第105代）を精神的指導者と位置づけています。

このような世界的な組織の中の一つが、日本聖公会です。日本においては、主教・司祭・執事の三職位の聖職や伝道師・宣教師・聖職候補生ら約270名の教役者が約300の教会・礼拝堂・伝道所に遣わされ、キリスト教の宣教活動に加え、様々な教育・医療・社会福祉などの事業を全国各地で行っており、教会では約2万人の信徒が信仰を守っています。

桃山学院は日本聖公会関係学校協議会に加盟しており、加盟校には、立教学院、立教女学院、香蘭女学校、聖路加国際大学、柳城学院、平安女学院、プール学院、松蔭女子学院、八代学院などがあります。

その他の関係施設では、聖路加国際病院、新生病院、聖バルナバ病院はよく知られており、また、多くの社会福祉法人や幼稚園・認定こども園等もあり、日本社会に貢献しています。

3. 設置する学校・学部・学科等（2023年5月1日現在）

◆桃山学院大学

学部

国際教養学部／英語・国際文化学科
 社会学部／社会学科、ソーシャルデザイン学科
 法学部／法律学科
 経済学部／経済学科
 経営学部／経営学科
 ビジネスデザイン学部／ビジネスデザイン学科

大学院

文学研究科（博士前期・後期課程）
 社会学研究科（博士前期・後期課程）
 経済学研究科（博士前期・後期課程）
 経営学研究科（博士前期・後期課程）

◆桃山学院教育大学

人間教育学部／人間教育学科（幼児教育課程、小学校教育課程、健康・スポーツ教育課程）

◆桃山学院中学校

6年一貫コース（選抜、進学）

◆桃山学院高等学校

S選抜コース、S英数コース、
 英数コース、文理コース、国際コース、中高一貫コース

4. 校地・校舎等の概要

(1)校地等所在地（2024年3月31日現在）

名 称	所 在 地
法人事務局	〒594-1198 大阪府和泉市まなび野1-1（和泉キャンパス）
桃山学院大学	〒594-1198 大阪府和泉市まなび野1-1（和泉キャンパス）
	〒545-0011 大阪市阿倍野区昭和町3-1-57（大阪・あべのキャンパス） ※聖テモテ館4階～9階
桃山学院大学大学院	〒594-1198 大阪府和泉市まなび野1-1（和泉キャンパス）
桃山学院教育大学	〒590-0114 大阪府堺市南区横塚台4-5-1（堺キャンパス）
桃山学院中学校高等学校	〒545-0011 大阪市阿倍野区昭和町3-1-64（昭和町キャンパス）※聖テモテ館1階～3階含む



和泉キャンパス

(2)土地・建物面積（2024年3月31日現在）

名 称	土地面積(m ²)	建物床面積(m ²)
和泉キャンパス	149,056.00	86,149.66
松尾寺グラウンド	35,384.00	719.91
堺キャンパス	37,431.00	17,370.66
昭和町キャンパス	26,395.00	45,319.97
その他土地（奈良/滋賀/長野）	8,254.00	—
計	256,520.00	149,560.20



堺キャンパス



昭和町キャンパス



1. 法人の概要

5. 役員・評議員の概要 (2024年3月31日現在)

(1)役員 (定員 理事:11名以上15名以内、監事:3名)

理事長	出田 善蔵				
学院長	磯 晴久				
常務理事	岡田 賢三	中辻 努	中野 瑞彦		
理事	(非常勤) 磯 晴久	／桃山学院長			
	(常勤) 中野 瑞彦	／桃山学院大学長			
	(常勤) 中野 瑞彦	／桃山学院教育大学長			
	(常勤) 岡田 賢三	／桃山学院高等学校長			
	(常勤) 中辻 努	／桃山学院事務局長			
	(非常勤) 内田 望				
	(非常勤) 上原 猛				
	(常勤) 北野 晋一郎	／桃山学院高等学校教頭			
	(常勤) 巖 圭介	／桃山学院大学副学長			
	(非常勤) 田尻 忠邦				
	(非常勤) 西村 浩一				
	(常勤) 出田 善蔵	／桃山学院理事長			
	(非常勤) 廉林 光夫				
	(非常勤) 飼馬 誠				
	(非常勤) 山田 陽彦				
監事	(非常勤) 岸脇 淳介				
	(常勤) 木下 洋一				
	(非常勤) 戸松 幹孝				

(2)評議員 (定員 30名以上36名以内)

桃山学院長	磯 晴久								
桃山学院大学長	中野 瑞彦								
桃山学院大学副学長	巖 圭介								
桃山学院大学の各学部長	井田 憲計	小野 達也	伊藤 潔志	小池 誠	田中 志津子	菊地 昌弘			
桃山学院教育大学長	中野 瑞彦								
桃山学院教育大学学部長	中村 浩也								
桃山学院高等学校長	岡田 賢三								
桃山学院事務局長	中辻 努								
桃山学院中学校高等学校教員	北野 晋一郎	田中 智晴							
事務職員	山中 一雄	原 徹	嶋田 剛						
卒業生	田尻 忠邦	上田 信夫	宗川 暢一	上原 猛	藤原 達治郎	奥田 通雄			
日本聖公会教役者または信徒	宇野 哲夫	齊藤 壹	原田 光雄	内田 望					
学識経験者	馬越 かよ子	石川 清	油谷 美嘉	相間 靖三	西村 浩一				

6. 教職員の概要 (2023年5月1日現在)

(1)教員数

学 部	教 授	准教授	講 師	計	共通教育機構 契約教員	兼任講師	チャプレン
社会	18	17	1	36			
法	13	4	3	20			
経済	17	12	5	34			
経営	18	4	4	26			
ビジネスデザイン	8	3	3	14			
共通教育機構	0	1	0	1			
計	86	53	18	157			

学 部	教 授	准教授	講 師	助 教	計	兼任講師	チャプレン	
桃山学院教育大学	人間教育	20	17	3	1	41	102	1

	教諭(※1)	常勤講師	英語科特別教員	計	兼任講師
桃山学院中学校高等学校	80	20	1	101	70

※1:チャプレン1名を含む

(2)職員数

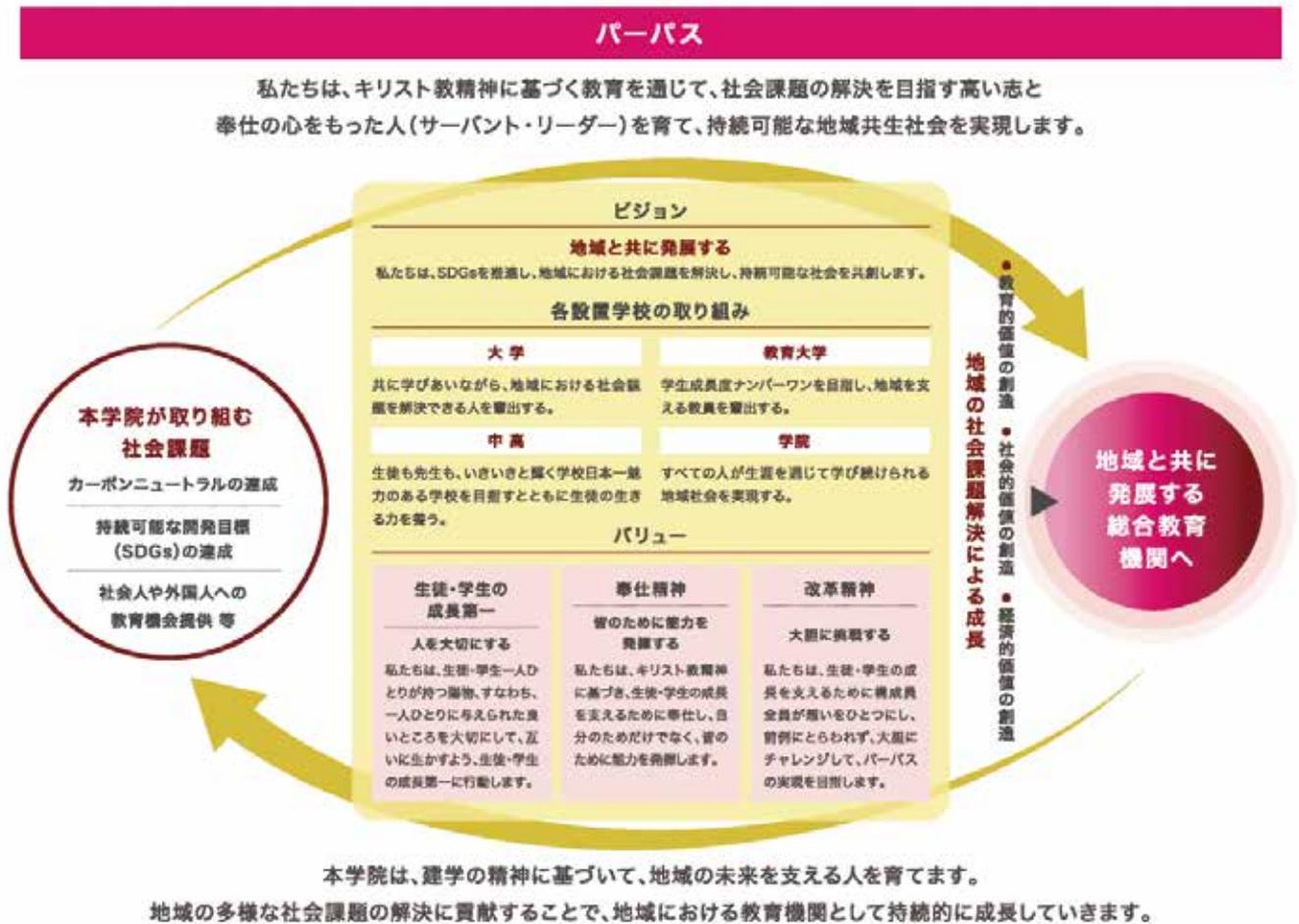
所 管	専 任	特定業務	契 約	派 遣	パート・アルバイト	実習助手	計
法人事務局	28 (※1)	4	11	2	5	0	50
桃山学院大学	63	1	27	29	17	3	140
桃山学院教育大学	14	1	12	6	2	0	35
桃山学院中学校高等学校	7	0	1	5	4	2	19
計	112	6	51	42	28	5	244

※1:出向者2名を含む

II. 事業の概要

1. 桃山学院将来構想

本年度より2027年度までの5か年の中長期計画である「桃山学院将来構想」がスタートいたしました。本構想は、第一期中長期ビジョン（2005年度-2012年度）、第二期中長期ビジョン（2013年度-2022年度）から続く、本法人における中長期経営計画の第3フェーズ（2023年度-2027年度）であり、これまで中長期ビジョンの中で積み上げてきた、教育研究基盤と確かな実績をもとに、更なる成長と発展に向けた指針を示したものです。



■ 主要課題への取り組み

1. 大学学部学科構成の最適化

- ① 桃山学院大学と桃山学院教育大学を統合し、2025年度に桃山学院大学人間教育学部を開設することについて文部科学省に認可申請を行いました。開設場所は和泉キャンパスとなります。
- ② 文部科学省の「大学・高専機能強化支援事業」の採択を受け、2026年度に和泉キャンパスに理系新学部を設置することについての調査・検討を行った結果、工学部（仮称）の設置認可申請に向けた準備を進めることとなりました。

2. キャンパス整備

- ① 和泉キャンパスにおける木造3階建新校舎建設に着手いたしました。完成は2024年11月を予定しており、2025年1月以降から供用開始となる見込みです。
- ② 桃山学院大学人間教育学部開設に向けて、必要となる実習施設・研究室等の整備に着手しました。2024年度も引き続き整備を進めてまいります。

3. 将来構想共創パートナー

将来構想で掲げる「持続可能な地域共生社会の実現」には、ビジョンに賛同する企業等との協働が不可欠であると考え「桃山学院将来構想共創パートナー」制度を創設しました。今年度は3社より申し込みを受け、パートナーの認定を行いました。

4. 社会人向けリカレント教育

文部科学省令和4年度「成長分野における即戦力人材輩出に向けたリカレント教育推進事業」の採択を受け「南大阪DX/GX推進リーダー育成プログラム」を実施しました。



2. 桃山学院大学

■ 教育理念

桃山学院大学では、開学以来「キリスト教精神に基づいて人格を陶冶し、世界の市民として広く国際的に活躍し得る人材の養成」を建学の精神とし、つねに行動力のある「世界の市民」の養成につとめてきました。これまで経験したことのない、新しい国際時代を迎えた今日、言語や文化の違いを超えた「地球社会」への積極的な貢献こそが、本学に求められる重要な使命（ミッション）であると考えます。



学長 中野 瑞彦

■ ミッションステートメント（社会的使命）

桃山学院大学は、自由と愛の精神に基づく学びの場として、ここに集うすべての人の多様な価値観を認め合いながら、向上心を絶やさず、みずから考え、積極的に行動する世界の市民を育むことを使命とする。

■ 学長、副学長、学部長、研究科長（2023年度）

学長：中野 瑞彦	経済学部長：井田 憲計
副学長：巖 圭介	社会学部長：小野 達也
副学長：辻井 誠人	経営学部長：伊藤 潔志
副学長：辻本 法子	国際教養学部長：小池 誠
	法学部長：田中 志津子
	ビジネスデザイン学部長：菊地 昌弥
	経済学研究科長：大島 一二
	社会学研究科長：名部 圭一
	経営学研究科長：山田 伊知郎
	文学研究科長：小野 良子

■ 主要課題への取り組み

1. 学部教育改革

学部教育改革の目的は、本学の教育内容を社会のニーズに応えつつ社会貢献に資する内容とすることとし、2023年度も各学部が第二次大学中期計画の達成のために検討した改革案を実施してきました。今年度はこれらの目的実現のため、学生が社会の一員として自立した生活を営むのに必要な知識と実践力を育む中で、地域連携や高大連携に資することができました。また、今年度より導入した学生カルテを活用し、専任教職員による学生支援の強化に取り組めるよう、学修進度を教員が追跡しやすい体系の構築をさらに進めました。その結果、今年度の学生満足度アンケートにおいて満足度の向上につながることができました。

3. 桃山学院教育大学

■ 教育理念

桃山学院教育大学は、すべての学生が、本学の生活を通じて人間として成長・成熟し、自分自身の人生を自覚した責任あるものとして生きていく力（我的世界を生きる力）、有能な社会人として生きる力（我々の世界を生きる力）をつける「人間教育」をめざしています。その上で、教育者としての社会的使命を果すべく、知識や技能、思考力や問題解決力等を指導できる「実践的な力」に加え、「人間教育」へ導く力を涵養します。



学長 中野 瑞彦

■ ミッションステートメント（社会的使命）

キリスト教精神に基づく人間教育を実現し、自らを磨き、人生を主体的に生き抜く個人の育成を使命とする。

2. 共通教育改革

- ①「Super Data Science Program (SDP)」については、ICT教育作業部会で科目構成等の内容を検討し、2024年度の開設を実現しました。
- ②新たな英語教育カリキュラムについて改革を進め、2025年度の開講に向けて調整を行いました。
- ③「データサイエンス基礎」の全学開講に向けて、数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度への申請準備が完了しました。

3. 研究改革

- ①教員の研究成果について、全学部において大学Webサイト上に教員名鑑を作成し、リサーチマップにリンクをして、可視化をしました。
- ②シンポジウムについて、2024年3月20日に国際教養学部主催で「地域社会に生きるムスリム 一多文化社会の実現に向けて一」を実施することができました。

4. 教育研究資産改革

- ①人的資産について、2022年度より学部担当課長を配置し、学部長のサポート体制を構築しました。2023年度は高大接続室を設置し、高校と学部との連携をさらに強化しました。
- ②無形資産について、春学期は経営学部、国際教養学部、法学部、ビジネスデザイン学部において外部アセスメントテストを導入し、これを学生面談で活用しました。
- ③有形資産について、一部蔵書のデジタル化を進めるとともに、2023年度は新たに電子書籍を購入し、電子書籍の蔵書数を拡充しました。また、今後に向けた取り組みとして、大学院生研究室及び法職セミナー室について学生等のさらなる利用率向上のための計画を行い、推進につなげていきます。

※各学部学科および各研究科の「ディプロマ・ポリシー」、「カリキュラム・ポリシー」、「アドミッション・ポリシー」については、大学Webサイトに公表しています。

■ 学長、学部長（2023年度）

学長：中野 瑞彦
学部長：中村 浩也

■ 主要課題への取り組み

1. 教育内容の充実

- ①新コース、新プログラムの着実な運用と展開
3年目となる新コース（国語教育コース、英語教育コース）については、2年次からのコース分属を経て、各コースのカリキュラムに則り授業を実施しました。また、チーム学校を支援するための新プログラム（教育相談実践基礎プログラム、日本語教員養成プログラム、部活動指導者養成プログラム）については、履修ガイダンス時に各プログラムリーダーによって、これらの内容を学生に説明した結果、2022年度末時点と比べて履修登録者が増加しました。



②基礎学力向上への支援

学生が1、2年次の間にそれぞれの学力状況に応じて授業および授業外で自分の理解が不十分なところを補完して学ぶことのできるAI搭載型のe-ラーニングシステムを導入して2年目に入りました。システムの導入等による支援の結果、基礎的教養に不安のあった学生の基礎学力が向上しました。本システムについて、「キャリア基礎（一般教養）」の授業での運用と検証を行いつつ、専門教育と教員採用試験をはじめとする就職試験で求められる基礎学力をしっかりと身につけることができるよう引き続き支援していきます。

2. 教員採用試験合格対策

教職センターの指導体制強化と同センターと授業との連携、また、学生の学ぶ姿勢と努力により、2022年度は教員・保育士の採用試験の現役合格者が2021年度より更に増加しております。2023年度も筆記試験や面接試験での対策を行った結果、引き続き好調を維持しております。

3. 地域等との連携強化（自治体、教育委員会、企業等）

新たに1件の連携協定を締結しました。また、連携事業については、大阪府をはじめとする自治体や、企業等とも積極的に実施しました。今後、さらに企業等とも連携し、学生や教職員がおこなう様々な取り組みの充実を図ります。特に、学生の2年次でのインターンシップ先を拡充し、地域等での貢献と学びを実感できるよう支援してまいります。

4. 桃山学院中学校高等学校

■ 教育理念

桃山学院中学校高等学校では、キリスト教精神を教育の大きな柱として、生徒一人ひとりの人格を尊重し、健やかな心身の成長と豊かな学力の形成をめざすことで社会のために責任ある一員となる人物を育てることを教育の基本方針としています。生徒を信頼し、自由を尊重する民主的な校風のもと、のびのびと学生生活を送ってもらうことで、自らの責任を自覚し、自主的な規律を持ち、それを守っていく良識ある若者を育てていきます。



学校長 岡田 賢三

■ ミッションステートメント（社会的使命）

桃山学院中学校高等学校は、自由と愛の精神に基づく学びの場として、生徒一人ひとりを大切に、個々の生徒が持つ多様な可能性を開花させ、健全な社会の実現に貢献できる若者を育成することを使命とする。

■ 校長、教頭、チャプレン、部長、主任（2023年度）

校長	岡田 賢三		
高校教頭	北野晋一郎		
中学教頭	田中 智晴		
チャプレン	松平 功	高校3学年主任	井上 昌彦
教務部長	前波 範一	高校2学年主任	塩田 北斗
生活指導部長	谷村 憲貴	高校1学年主任	濱井 俊行
進路指導部長	横山 佳幸	中学主任代表	吉野谷 治
自治会指導部長	橋本 直人		

■ 主要課題への取り組み

1. 進路指導の充実

2023年度における特筆すべきことは、今まで取り組んできたことがさらに実を結び、東大（1名）・京大（9名）の現役合格者数の合計が二桁になったことです。また、旧帝大すべてで現役合格者が出ました。また、新たに設置したS選抜の模試における平均偏差値は飛躍的に上昇しています。

4. 国際交流プログラムの充実

新型コロナウイルス感染状況を常に確認しつつ、国際交流プログラムについて、2024年2月に派遣留学（フィリピン研修：参加学生4名、引率1名 カンボジア研修：参加学生3名、引率2名 カナダ交換プログラム：参加学生1名）を実施しました。

5. 桃大との連携

桃山学院大学の充実した施設を活用した授業、あべのキャンパスでの就職イベント、国際交流など、2023年度も連携しました。

※「ディプロマ・ポリシー」、「カリキュラム・ポリシー」、「アドミッション・ポリシー」については、大学Webサイトにて公表しています。

2. 教員の指導力の向上

教員相互の授業見学を実施するとともに、新任教員（専任1名・常勤5名）が〔授業研究所〕セミナーを受講しました。生徒対象の授業アンケートも実施し、それぞれの評価を教科等で共有、指導力向上に繋がりました。

3. グローバル教育の推進

米国聖公会関係学校との交換留学制度の派遣校として、新たに2校と提携し、そのうち1校は新たな形態であるターム留学としました。次年度はマレーシア研修や台湾研修も再開したいと考えております。今後はさらに海外からの一般入学生を受け入れ、異文化が共生する環境を創造していきます。

4. 生徒満足度の向上

満足度は、中学生94.0%、高校生91.4%、また保護者アンケートで、「子どもは学校へ行くのを楽しみにしている。」の回答で、中学保護者86%、高校保護者86%の回答です。すべての項目において、100%により近づこう努めます。

5. SDGs 活動への取り組み

- SBS（スクール・バイ・スクール・プロジェクト）
ウクライナ・キーウ郊外にあるボプリク校（小学校・中学校）に戦いで破壊された食堂を復興する支援金として、生徒たちが集めた60万円を送金しました。
- リメイク活動（生徒が学内施設を補修する活動）
11月に駐輪場の塗装体験を実施しました。
- 響プロジェクト（AEDの普及及び啓蒙活動）・聖バルナバ病院での思春期講座
教職員向けAED講習会、講演会、思春期講座を実施しました。
- 使い捨てカイロを再生利用しての水質改善運動
墓山古墳へ使い捨てカイロを利用したキューブを2023年2月より継続的に投下しています。富栄養化の原因となる水中のリン酸濃度の低下など顕著な分析結果が得られ、夏場のウキクサの発生も抑制されました。
- 生徒による近隣の子ども食堂に通う児童への学習指導
今年度はこれまで使用していた会場が使えなくなったことや、生徒が集まらなかったため学習指導は実施できませんでした。



Ⅲ. 財務の概要

Ⅲ. 財務の概要

私立学校法および学校法人会計基準に基づき作成した計算書類について、その概要を以下のとおり記載しご報告いたします。

なお、ここでの数値比較は、資金収支計算書および事業活動収支計算書につきましては予算額を、貸借対照表につきましては前年度残高をもとにしています。また、各資料に用いた数値はそれぞれ千円単位未満を四捨五入しているため、合計額が一致しないことがあります。

■ 学校法人会計について

学校法人は教育研究活動を第一の目的とし、経費の大部分を学生からの学費や税金を原資とした補助金で賄っているため、極めて公共性の高い法人といえます。その公共性の高さから、企業が営利を主たる目的とするのとは異なり、学校法人は利益の獲得を目的とすることはありません。そのため、学校法人会計では、収支の均衡の状態および財政状態を正確に把握し、公共性の高い法人として永続的な発展を図ることが主な目的になっています。

■ 基本金について

学校法人が教育研究活動を行っていくためには資産（校地・校舎・機器備品・現金預金）の維持・充実が必要不可欠です。そのために必要な金額を教育研究計画に基づき、負債とならない学校法人全体の収入の総額（以下、事業活動収入）から組入れたものが「基本金」です。「基本金」には以下の4種類があります。

- 第1号基本金：自己資金で取得した固定資産の額（校地、校舎、機器備品、図書等の固定資産として保有）
- 第2号基本金：将来、固定資産を取得するために事前に留保した資産の額（現金預金、有価証券等の引当資産として保有）
- 第3号基本金：基金として継続的に保持・運用する資産の額（現金預金、有価証券等の引当資産として保有）
- 第4号基本金：学校法人の円滑な運営に必要な運転資金として保持する資産の額（現金預金、有価証券等の引当資産として保有）

1. 資金収支計算書

資金収支計算書は当該会計年度の諸活動における全ての収入と支出を明らかにして、支払資金の顛末をあらわす計算書です。この計算書の特徴は収入と支出を全て現金預金で行われたものとみなして表示し、実際には当該年度の現金預金の収支ではない期末未収入金、前期末前受金、期末未払金などを資金収支の調節勘定として差引調整計算することで期末現金預金残高を翌年度繰越支払資金として表示する所に特徴があります。

(収入の部)		【単位：千円】		
科 目	予 算	決 算	差 異	
学生生徒等納付金収入	9,603,872	9,590,531	13,341	
手数料収入	195,114	203,973	△ 8,859	
寄付金収入	63,879	70,182	△ 6,303	
補助金収入	2,384,401	2,256,243	128,158	
資産売却収入	0	0	0	
付随事業・収益事業収入	37,215	32,738	4,477	
受取利息・配当金収入	25,990	26,455	△ 465	
雑収入	273,776	298,982	△ 25,206	
借入金等収入	0	0	0	
前受金収入	1,699,618	1,726,492	△ 26,874	
その他の収入	1,125,176	1,198,621	△ 73,445	
資金収入調整勘定	△ 1,929,380	△ 1,951,402	22,022	
前年度繰越支払資金	11,360,269	11,360,268		
収入の部合計	24,839,930	24,813,084	26,846	

(支出の部)		【単位：千円】		
科 目	予 算	決 算	差 異	
人件費支出	6,777,003	6,753,707	23,296	
教育研究経費支出	3,659,475	3,415,539	243,936	
管理経費支出	788,163	736,113	52,050	
借入金等利息支出	0	0	0	
借入金等返済支出	0	0	0	
施設関係支出	677,867	626,345	51,522	
設備関係支出	78,749	77,646	1,103	
資産運用支出	5,000	5,000	0	
その他の支出	528,798	451,693	77,105	
予備費	5,896		5,896	
資金支出調整勘定	△ 287,058	△ 453,423	166,365	
翌年度繰越支払資金	12,606,037	13,200,465	△ 594,428	
支出の部合計	24,839,930	24,813,084	26,846	

【概 況】

2023年度の決算では、予算に比して収入の部合計が2,684万円減少の248億1,308万円となりました。これは主に「補助金収入」の減少によるものです。「補助金収入」の減少は、桃山学院高等学校の「地方公共団体補助金収入」が1,412万円増加したものの、桃山学院大学と桃山学院教育大学の「経常費補助金」が国の計算基準の見直しにより減額となり、「国庫補助金収入」が法人全体で1億3,660万円減少したことが主な要因となります。

支出の部では、「教育研究経費支出」が2億4,393万円減少しました。これは、経費削減に努めたことに加えて、「高等教育の修学支援新制度」の対象者が予測を下回り、奨学費支出が減少したこと、さらに光熱水費が予測よりも少なかったことなどによるものです。

このように収入減を上回る支出減の結果、翌年度繰越支払資金は5億9,442万円増加の132億46万円となりました。



資金収支における勘定科目について

<資金収入の部>		<資金支出の部>	
学生生徒等納付金収入	授業料・入学金等の在学を条件として義務的にかつ一律に納付される収入	人件費支出	教職員(アルバイト等含む)に支給する本俸、期末手当、その他手当および専任教職員の退職金財団掛金等
手数料収入	入学試験・編転入学試験および各種証明書の発行の際に徴収する収入	教育研究経費支出	教育研究のために要する消耗品費、光熱水費、旅費交通費、奨学費等の経費
寄付金収入	金銭等の寄付による収入	管理経費支出	教育研究経費以外の消耗品費、光熱水費、旅費交通費、広告費等の経費
補助金収入	国や地方公共団体およびこれに準ずる機関から交付される補助金	借入金等利息支出	借入金等の利息の返済にかかる支出
資産売却収入	固定資産等の売却にかかる収入	借入金等返済支出	借入金等の元金の返済にかかる支出
付随事業・収益事業収入	学校法人の補助活動事業、附属事業、受託事業および収益事業などからの収入	施設関係支出	資産運用の目的で取得するものを除く、土地・建物等の取得にかかる支出
受取利息・配当金収入	預金、貸付金、有価証券等の利息や配当金による収入	設備関係支出	機器備品、図書等の取得にかかる支出
雑収入	学校法人に帰属する上記の各収入以外の収入	資産運用支出	各種特定資産への繰入支出、有価証券の取得にかかる支出
借入金等収入	学校債の発行や銀行等からの借入金による収入	その他の支出	貸付金、仮払金等の上記支出以外の支出
前受金収入	翌年度入学の生徒にかかる学生生徒等納付金収入やその他の前受による収入	予備費	予算化されていない突発的な事象に対応するための経費
その他の収入	各種特定資産からの繰入収入や貸付金回収収入、預り金等	資金支出調整勘定	当年度の諸活動に対する支出ではあるが、実際の資金の支出が前年度以前にあったものまたは翌年度以降になるもの
資金収入調整勘定	当年度の諸活動に対する収入ではあるが、実際の資金の収入が前年度以前にあったものまたは翌年度以降になるもの		

2. 活動区分資金収支計算書

活動区分資金収支計算書は資金収支計算書の内容を3つの活動区分(教育活動、施設整備等活動、その他の活動)に区分し、活動区分ごとに資金の流れを明らかにするための資料です。

その中でも、教育活動の区分は、学校法人のいわゆる本業にあたる部分となり、教育活動資金収支差額は、本業での資金の顛末を明らかにしています。

【単位：千円】

科 目		金 額	科 目		金 額	科 目		金 額	
教育活動による資金収支	学生生徒等納付金収入	9,590,531	施設整備等活動による資金収支	施設設備寄付金収入	12,973	その他の活動による資金収支	収入	その他の活動資金収入計	138,248
	手数料収入	203,973		減価償却引当特定資産取崩収入	1,000,000		支出	その他の活動資金支出計	46,950
	特別寄付金収入	45,156		施設整備等活動資金収入計	1,012,973		差引		91,298
	一般寄付金収入	12,053		施設関係支出	626,345		調整勘定等		167
	経常費等補助金収入	2,256,243		設備関係支出	77,646		その他の活動資金収支差額		91,465
	付随事業収入	32,738		施設整備等活動資金支出計	703,991		支払資金の増減額		1,840,197
	雑収入	298,982		差引	308,982		(小計+その他の活動資金収支差額)		
	教育活動資金収入計	12,439,677		調整勘定等	△55,414		前年度繰越支払資金		11,360,268
	人件費支出	6,753,707		施設整備等活動資金収支差額	253,568		翌年度繰越支払資金		13,200,465
	教育研究経費支出	3,415,539		小計 (教育活動資金収支差額 + 施設整備等活動資金収支差額)	1,748,731				
管理経費支出	736,113								
教育活動資金支出計	10,905,359								
差引	1,534,318								
調整勘定等	△39,154								
教育活動資金収支差額	1,495,164								

【概況】

活動区分資金収支計算書は、資金収支計算書に記載されている資金収入および資金支出を3つの活動ごとに区分して記載した計算書です。はじめに、学校法人の本業にあたる「教育活動による資金収支」の収支差額は14億9,516万円となりました。

次に「施設整備等活動による資金収支」については、2024年11月竣工予定の新棟建設工事の資金対応の一部として減価償却引当特定資産を10億円取崩したことから、施設整備等活動資金収支差額は2億5,356万円の収入超過となりました。

それらの要因に財務活動や預り金の受払い等の経過的な活動を記載する「その他の活動による資金収支」を加算した結果、支払資金の増減額は18億4,019万円の増加となりました。



III. 財務の概要

3. 事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は当該会計年度の活動に対応する「事業活動収入」および「事業活動支出」の内容と、基本金組入後の均衡の状態を明らかにする計算書類です。この計算書で用いられる「事業活動収入」とは学校法人の負債とならない収入であり、「事業活動支出」は実際には現金預金の支出を伴わない減価償却額や退職給与引当金繰入額などを含めた金額となります。

【単位：千円】

科 目		予 算	決 算	差 異
教育活動収支	収入の部			
	学生生徒等納付金	9,603,872	9,590,531	13,341
	手数料	195,114	203,973	△ 8,859
	寄付金	43,004	57,508	△ 14,504
	経常費等補助金	2,384,401	2,256,243	128,158
	付随事業収入	37,215	32,738	4,477
	雑収入	218,549	237,568	△ 19,019
	教育活動収入計	12,482,155	12,378,561	103,594
	支出の部			
	人件費	6,729,294	6,690,188	39,106
教育研究経費	4,844,982	4,600,632	244,350	
管理経費	954,878	902,826	52,052	
徴収不能額等	0	120	△ 120	
教育活動支出計	12,529,154	12,193,766	335,388	
教育活動収支差額	△ 46,999	184,796	△ 231,795	
教育活動外収支	収入の部			
	受取利息・配当金	25,990	26,455	△ 465
	その他の教育活動外収入	0	0	0
	教育活動外収入計	25,990	26,455	△ 465
	支出の部			
	借入金等利息	0	0	0
	その他の教育活動外支出	0	0	0
	教育活動外支出計	0	0	0
	教育活動外収支差額	25,990	26,455	△ 465
	経常収支差額	△ 21,009	211,251	△ 232,260

【単位：千円】

科 目		予 算	決 算	差 異
特別収支	収入の部			
	資産売却差額	0	0	0
	その他の特別収入	22,413	20,053	2,360
	特別収入計	22,413	20,053	2,360
	支出の部			
	資産処分差額	96,552	94,231	2,321
	その他の特別支出	0	0	0
	特別支出計	96,552	94,231	2,321
	特別収支差額	△ 74,139	△ 74,178	39
	予備費	20,354		20,354
基本金組入前当年度収支差額	△ 115,502	137,073	△ 252,575	
基本金組入額合計	△ 497,603	△ 498,649	1,046	
当年度収支差額	△ 613,105	△ 361,576	△ 251,529	
前年度繰越収支差額	△ 4,600,557	△ 4,600,556	△ 1	
基本金取崩額	915	20	895	
翌年度繰越収支差額	△ 5,212,747	△ 4,962,112	△ 250,635	
(参考)				
事業活動収入計	12,530,558	12,425,070	105,488	
事業活動支出計	12,646,060	12,287,997	358,063	

【概況】

事業活動収入では、予算額に比して1億548万円の減少となりました。これは主に「経常費等補助金」の減少によるものです。「経常費等補助金」の減少については、桃山学院高等学校の「地方公共団体補助金」が1,412万円増加したものの、桃山学院大学と桃山学院教育大学の「経常費補助金」が国の計算基準の見直しにより減額となり、「国庫補助金」が法人全体で1億3,660万円減少したことが主な要因となります。

事業活動支出では、「教育研究経費」と「管理経費」の減少が主な要因となり、3億5,806万円の減少となりました。これは、経費削減に努めたことに加えて、「高等教育の修学支援新制度」の対象者が予測を下回り、奨学金が減少したこと、さらに光熱水費が予測よりも少なかったことなどにより「教育研究経費」が2億4,435万円減少したことが主な要因になります。

このように収入減を上回る支出減の結果、基本金組入前当年度収支差額は1億3,707万円の収入超過となり、事業活動収支差額比率は1.1%となりました。

なお、基本金組入額は、4億9,864万円となり、その主な内容は、図書や備品関係などの恒常的な取得資産の他に新棟建設工事に伴う組入があげられます。

事業活動収支における勘定科目について

<事業活動収入の部>

学生生徒等納付金	資金収支に同じ
手数料	資金収支に同じ
寄付金	資金収支に現物寄付を加えた額(施設設備に係る寄付金・現物寄付を除く)
経常費等補助金	施設設備補助金以外の補助金
付随事業収入	学校法人の補助活動事業、附属事業および受託事業などからの収入
雑収入	資金収支に同じ
受取利息・配当金	資金収支に同じ
その他の教育活動外収入	収益事業などからの収入
資産売却差額	資産売却収入が、当該資産の帳簿残高を超えた場合、その超過額
その他の特別収入	施設設備に係る寄付金・現物寄付、施設設備補助金及び過年度修正額(前年度以前の収入または支出の修正額で当年度の収入となるもの)などによる収入
事業活動収入	学校法人に帰属する負債とならない全ての収入
基本金組入額	第1号から第4号までの基本金の組入額の合計

<事業活動支出の部>

人件費	資金収支の人件費支出から退職金支出を除き、退職給与引当金繰入額を加えた額
教育研究経費	資金収支の教育研究経費支出に減価償却額を加えた額
管理経費	資金収支の管理経費支出に減価償却額を加えた額
減価償却額	教育研究経費、管理経費共通の科目であり固定資産の当年度の減価償却額の合計
借入金等利息	資金収支に同じ
資産処分差額	資産を売却したその代価が帳簿残高を下回った場合、その差額や資産を除却した際の除却額
その他の特別支出	災害損失や過年度修正額(前年度以前の収入または支出の修正額で当年度の支出となるもの)などによる支出
予備費	資金収支に同じ
事業活動支出	上記支出の合計額
基本金組入前当年度収支差額	事業活動収入から事業活動支出を差し引いたもの



4. 貸借対照表

貸借対照表は当該年度末時点での資産・負債・基本金・繰越収支差額の内容を明確にし、学校法人全体の財政状態を把握することを目的としています。また、学校法人では固定資産が主要な財産の大部分を占めているため、ほとんどの一般企業が採用している「流動性配列法」ではなく、固定資産から配列していく「固定性配列法」を採用しています。

【資産の部】			
科 目	2023年度末	2022年度末	増減
固定資産	74,192,748	75,946,606	△ 1,753,857
有形固定資産	51,432,362	52,167,028	△ 734,666
土地	23,442,579	23,442,579	0
建物	20,766,558	21,712,160	△ 945,602
構築物	386,867	429,152	△ 42,285
機器備品(教育研究用・管理用)	597,561	773,265	△ 175,705
図書	5,746,427	5,809,097	△ 62,669
車両	194	775	△ 580
建設仮勘定	492,176	0	492,176
特定資産	22,669,219	23,669,219	△ 1,000,000
第3号基本金引当特定資産	2,225,606	2,225,606	0
減価償却引当特定資産	16,240,000	17,240,000	△ 1,000,000
将来構想資金引当特定資産	3,613	3,613	0
その他の引当特定資産	4,200,000	4,200,000	0
その他の固定資産	91,167	110,359	△ 19,191
長期貸付金	62,421	86,592	△ 24,171
その他(施設利用権他)	28,746	23,766	4,980
流動資産	13,472,416	11,524,750	1,947,665
現金預金	13,200,465	11,360,268	1,840,197
未収入金	210,567	86,224	124,343
その他(前払金他)	61,384	78,258	△ 16,874
資産の部合計	87,665,164	87,471,356	193,808

【負債及び純資産の部】			
科 目	2023年度末	2022年度末	増減
固定負債	3,469,350	3,545,773	△ 76,423
長期未払金	654,476	728,795	△ 74,319
退職給与引当金	2,814,874	2,816,978	△ 2,104
流動負債	2,920,694	2,787,537	133,157
未払金	474,444	372,837	101,606
前受金	1,726,492	1,740,231	△ 13,739
その他(預り金他)	719,758	674,469	45,290
負債の部合計	6,390,044	6,333,310	56,735
基本金	86,237,232	85,738,603	498,629
繰越収支差額	△ 4,962,112	△ 4,600,556	△ 361,556
純資産の部合計	81,275,120	81,138,046	137,073
負債及び純資産の部合計	87,665,164	87,471,356	193,808
純資産構成比率(純資産/総資産)	92.7%	92.8%	

【概況】

有形固定資産では、法人全体で7億399万円の施設・設備投資を実施したものの、減価償却額がそれを上回り有形固定資産全体で7億3,466万円の減少となりました。特定資産では、2024年11月竣工予定の新棟建設工事の資金対応の一部として減価償却引当特定資産を10億円取崩したことにより、前年度から10億円減の226億6,921万円を計上することとなりました。その他の固定資産では、長期貸付金が2,417万円減少しました。その結果、固定資産は17億5,385万円減少し、741億9,274万円となりました。

流動資産では、減価償却引当特定資産を取崩したことなどから現金預金が増加し、18億4,019万円増加の132億4,616万円を計上しました。その結果、資産の部合計は1億9,380万円増加し、876億6,516万円となりました。

負債の部では、固定負債における長期未払金(ファイナンスリース資産)が減少したものの、流動負債において、未払金が増加したことにより、負債合計で5,673万円の増加となりました。

結果、純資産額は2022年度末に比して、1億3,707万円増加の812億7,512万円となり、純資産構成比率は92.7%となりました。

貸借対照表における勘定科目について

有形固定資産	土地・建物・構築物・機器備品・図書等	固定負債	長期借入金、退職給与引当金、長期未払金等
特定資産	各種特定資産	流動負債	短期借入金、未払金、前受金、預り金等
その他の固定資産	長期貸付金、長期に保有する有価証券等	基本金	第1号～第4号基本金
流動資産	現金預金、短期貸付金、前払金等	繰越収支差額	当年度末における収支差額の累積額



Ⅲ. 財務の概要

5. 財務状況の推移

(1) 連続資金収支計算書 (2018年度~2023年度)

【法人全体】

【単位：千円】

科 目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
資金収入						
学生生徒等納付金収入	8,635,006	8,572,638	8,668,969	9,153,867	9,429,704	9,590,531
手数料収入	303,548	315,835	239,136	234,420	192,672	203,973
寄付金収入	56,628	78,919	170,936	47,391	61,302	70,182
補助金収入	1,659,087	1,609,088	2,117,466	2,346,961	2,340,059	2,256,243
資産売却収入	0	512	0	0	0	0
付随事業・収益事業収入	110,260	84,909	12,313	21,234	36,249	32,738
受取利息・配当金収入	23,802	23,283	18,754	15,681	18,953	26,455
雑収入	346,508	267,151	297,672	269,501	121,743	298,982
借入金等収入	0	0	0	0	0	0
前受金収入	1,498,034	1,476,207	1,796,126	1,740,132	1,740,231	1,726,492
その他の収入	4,965,622	584,048	1,536,071	520,915	266,529	1,198,621
資金収入調整勘定	△ 1,705,544	△ 1,729,681	△ 1,758,679	△ 1,990,910	△ 1,826,960	△ 1,951,402
前年度繰越支払資金	7,682,744	10,178,176	8,682,562	8,690,214	9,942,454	11,360,268
収入の部合計	23,575,695	21,461,083	21,781,325	21,049,407	22,322,936	24,813,084
資金支出						
人件費支出	6,367,080	6,363,173	6,416,043	6,570,163	6,449,094	6,753,707
教育研究経費支出	2,418,089	2,572,138	3,253,655	3,109,825	3,259,493	3,415,539
管理経費支出	883,045	803,235	792,226	827,209	675,985	736,113
借入金等利息支出	0	0	0	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0	0	0	0
施設関係支出	2,311,800	2,127,014	2,253,798	130,660	66,430	626,345
設備関係支出	429,762	292,603	479,956	120,706	141,892	77,646
資産運用支出	500,000	500,000	500,000	200,000	200,000	5,000
その他の支出	1,228,882	435,567	338,956	464,158	502,303	451,693
資金支出調整勘定	△ 741,140	△ 315,208	△ 943,524	△ 315,768	△ 332,530	△ 453,423
翌年度繰越支払資金	10,178,176	8,682,562	8,690,214	9,942,454	11,360,268	13,200,465
支出の部合計	23,575,695	21,461,083	21,781,325	21,049,407	22,322,936	24,813,084



(2) 連続活動区分資金収支計算書 (2018年度~2023年度)

【法人全体】

【単位：千円】

科 目		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
教育活動による資金収支	収入						
	学生生徒等納付金収入	8,635,006	8,572,638	8,668,969	9,153,867	9,429,704	9,590,531
	手数料収入	303,548	315,835	239,136	234,420	192,672	203,973
	特別寄付金収入	32,420	20,925	55,376	26,293	41,496	45,156
	一般寄付金収入	14,412	45,947	61,236	14,678	12,228	12,053
	経常費等補助金収入	1,629,909	1,559,899	2,050,547	2,332,174	2,321,683	2,256,243
	付随事業収入	110,181	84,909	12,313	21,234	36,249	32,738
	雑収入	343,718	267,151	297,567	269,241	121,743	298,982
	教育活動資金収入計	11,069,194	10,867,303	11,385,144	12,051,907	12,155,774	12,439,677
	支出						
人件費支出	6,367,080	6,363,173	6,416,043	6,570,163	6,449,094	6,753,707	
教育研究経費支出	2,418,089	2,572,138	3,253,655	3,109,825	3,259,493	3,415,539	
管理経費支出	883,045	803,001	785,357	827,209	675,755	736,113	
教育活動資金支出計	9,668,214	9,738,313	10,455,055	10,507,196	10,384,342	10,905,359	
差引	1,400,980	1,128,990	930,089	1,544,711	1,771,432	1,534,318	
調整勘定等	△ 389,969	△ 112,159	298,703	△ 13,406	105,638	△ 39,154	
教育活動資金収支差額	1,011,011	1,016,831	1,228,791	1,531,305	1,877,070	1,495,164	
施設整備等活動による資金収支	収入						
	施設設備寄付金収入	9,796	12,047	54,324	6,420	7,578	12,973
	施設設備補助金収入	29,178	49,189	66,919	14,787	18,376	0
	施設設備売却収入	0	512	0	0	0	0
	減価償却引当特定資産取崩収入	0	0	0	0	0	1,000,000
	将来構想資金引当特定資産取崩収入	4,150,000	0	630,404	0	0	0
	施設整備等活動資金収入計	4,188,974	61,748	751,647	21,207	25,954	1,012,973
	支出						
	施設関係支出	2,311,800	2,127,014	2,253,798	130,660	66,430	626,345
	設備関係支出	429,762	292,603	479,956	120,706	141,892	77,646
減価償却引当特定資産繰入支出	500,000	500,000	500,000	200,000	200,000	0	
施設整備等活動資金支出計	3,241,563	2,919,617	3,233,754	451,366	408,322	703,991	
差引	947,411	△ 2,857,869	△ 2,482,107	△ 430,160	△ 382,368	308,982	
調整勘定等	178,659	△ 22,566	597,908	△ 25,855	△ 76,430	△ 55,414	
施設整備等活動資金収支差額	1,126,070	△ 2,880,435	△ 1,884,199	△ 456,015	△ 458,798	253,568	
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	2,137,081	△ 1,863,604	△ 655,407	1,075,291	1,418,272	1,748,731	
その他の活動による資金収支	収入						
	その他の活動資金収入計	444,406	390,463	692,880	256,184	88,898	138,248
	支出						
	その他の活動資金支出計	86,055	22,473	29,670	79,453	89,125	46,950
差引	358,350	367,990	663,210	176,731	△ 227	91,298	
調整勘定等	0	0	△ 150	218	△ 231	167	
その他の活動資金収支差額	358,350	367,990	663,060	176,949	△ 458	91,465	
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	2,495,432	△ 1,495,614	7,653	1,252,240	1,417,814	1,840,197	
前年度繰越支払資金	7,682,744	10,178,176	8,682,562	8,690,214	9,942,454	11,360,268	
翌年度繰越支払資金	10,178,176	8,682,562	8,690,214	9,942,454	11,360,268	13,200,465	



III. 財務の概要

(3) 連続事業活動収支計算書 (2018年度~2023年度)

【法人全体】

【単位：千円】

科 目		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	8,635,006	8,572,638	8,668,969	9,153,867	9,429,704	9,590,531
		手数料	303,548	315,835	239,136	234,420	192,672	203,973
		寄付金	47,502	67,622	117,257	41,862	54,378	57,508
		経常費等補助金	1,629,909	1,559,899	2,050,547	2,332,174	2,321,683	2,256,243
		付随事業収入	110,181	84,909	12,313	21,234	36,249	32,738
		雑収入	304,152	267,151	240,405	253,140	118,324	237,568
		教育活動収入計	11,030,298	10,868,054	11,328,627	12,036,696	12,153,010	12,378,561
	事業活動支出の部	人件費	6,311,369	6,378,394	6,280,357	6,522,202	6,504,717	6,690,188
		(内、退職給与引当金繰入額)	(257,821)	(295,881)	(251,050)	(280,963)	(180,604)	(324,141)
		教育研究経費	3,451,528	3,692,208	4,419,676	4,378,258	4,557,736	4,600,632
		(内、減価償却額)	(1,032,769)	(1,119,318)	(1,165,376)	(1,267,544)	(1,297,742)	(1,184,793)
		管理経費	972,468	909,245	919,191	986,798	845,272	902,826
		(内、減価償却額)	(89,423)	(106,243)	(133,835)	(159,589)	(169,363)	(166,713)
		徴収不能額等	670	10	30	0	0	120
	教育活動支出計	10,736,035	10,979,857	11,619,254	11,887,259	11,907,724	12,193,766	
	教育活動収支差額	294,264	△ 111,802	△ 290,627	149,437	245,286	184,796	
教育活動外収支	収入の部	受取利息・配当金	23,802	23,283	18,754	15,681	18,953	26,455
		その他の教育活動外収入	79	0	0	0	0	0
		教育活動外収入計	23,881	23,283	18,754	15,681	18,953	26,455
	支出の部	借入金等利息	0	0	0	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0	0
		教育活動外支出計	0	0	0	0	0	0
	教育活動外収支差額	23,881	23,283	18,754	15,681	18,953	26,455	
	経常収支差額	318,145	△ 88,520	△ 271,874	165,119	264,239	211,251	
特別収支	収入の部	資産売却差額	0	494	0	0	0	0
		その他の特別収入	45,248	65,593	219,453	29,608	34,512	20,053
		特別収入計	45,248	66,087	219,453	29,608	34,512	20,053
	支出の部	資産処分差額	26,563	164,062	101,569	54,759	52,896	94,231
		その他の特別支出	0	233	6,870	0	234,931	0
		特別支出計	26,563	164,296	108,438	54,759	287,827	94,231
	特別収支差額	18,685	△ 98,209	111,015	△ 25,150	△ 253,315	△ 74,178	
	基本金組入前当年度収支差額	336,830	△ 186,728	△ 160,859	139,968	10,924	137,073	
	基本金組入額合計	△ 1,868,163	△ 1,992,883	△ 1,827,081	△ 139,052	△ 45,154	△ 498,649	
	当年度収支差額	△ 1,531,333	△ 2,179,612	△ 1,987,940	916	△ 34,230	△ 361,576	
	前年度繰越収支差額	1,077,288	△ 454,046	△ 2,633,515	△ 4,621,455	△ 4,612,887	△ 4,600,556	
	基本金取崩額	0	142	0	7,652	46,561	20	
	翌年度繰越収支差額	△ 454,046	△ 2,633,515	△ 4,621,455	△ 4,612,887	△ 4,600,556	△ 4,962,112	
(参考)								
	事業活動収入計	11,099,427	10,957,424	11,566,834	12,081,986	12,206,476	12,425,070	
	事業活動支出計	10,762,598	11,144,152	11,727,693	11,942,018	12,195,551	12,287,997	

【概況】

2021年度から桃山学院大学と桃山学院教育大学で認められた入学定員増に伴い学生生徒等納付金は増加傾向にあります。また4年目を迎えた「高等教育の修学支援新制度」の影響もあり経常費等補助金は制度開始前に比して増加しています。同様に教育研究経費においても同制度の実施に伴い奨学費が増加し、2020年度からは聖テモテ館に係る減価償却額増も加わり、教育研究経費としては増加傾向にあります。

2023年度は、大規模な図書整理が実施されるなど、資産処分差額に9,423万円計上しましたが、安定した収入増もあり、経常収支差額は2億1,125万円の収入超過となり、特別収支差額を加えた基本金組入前当年度収支差額においても1億3,707万円の収入超過となりました。なお、当年度の収支状況を示す事業活動収支差額比率は1.1%となりました。(財務比率については、『財務比率の推移』を参照)



(4) 連続貸借対照表 (2018年度～2023年度)

【単位：千円】

科 目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
資産の部						
固定資産	76,457,583	77,676,174	78,551,103	77,317,381	75,946,606	74,192,748
有形固定資産	52,461,821	53,496,154	54,927,233	53,704,850	52,167,028	51,432,362
土地	23,442,579	23,442,579	23,442,579	23,442,579	23,442,579	23,442,579
建物	20,613,376	20,101,828	23,856,935	22,985,989	21,712,160	20,766,558
構築物	577,575	491,045	555,614	483,004	429,152	386,867
備品（教育研究用・管理用）	1,180,727	1,118,356	1,240,939	983,757	773,265	597,561
図書	5,644,602	5,704,946	5,829,073	5,808,167	5,809,097	5,746,427
車両	2,962	2,832	2,094	1,355	775	194
建設仮勘定	1,000,000	2,634,568	0	0	0	492,176
特定資産	23,799,623	23,999,623	23,469,219	23,469,219	23,669,219	22,669,219
第2号基本金引当特定資産	0	0	0	0	0	0
第3号基本金引当特定資産	2,225,606	2,225,606	2,225,606	2,225,606	2,225,606	2,225,606
奨学資金引当特定資産	1,900,000	1,600,000	1,300,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000
退職給与引当特定資産	2,900,000	2,900,000	2,800,000	2,800,000	2,800,000	2,800,000
減価償却引当特定資産	15,840,000	16,340,000	16,840,000	17,040,000	17,240,000	16,240,000
危機管理対策資金引当特定資産	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000
将来構想資金引当特定資産	634,017	634,017	3,613	3,613	3,613	3,613
その他の固定資産	196,139	180,398	154,651	143,312	110,359	91,167
長期貸付金	127,756	112,015	101,446	90,107	86,592	62,421
その他（施設利用権他）	68,383	68,383	53,206	53,206	23,766	28,746
流動資産	10,480,699	8,992,291	9,042,144	10,206,996	11,524,750	13,472,416
現金預金	10,178,176	8,682,562	8,690,214	9,942,454	11,360,268	13,200,465
未収入金	216,264	231,043	281,868	195,980	86,224	210,567
短期貸付金	32,222	26,154	19,392	14,731	13,397	8,865
その他（前払金他）	54,037	52,533	50,669	53,831	64,861	52,519
資産の部合計	86,938,282	86,668,465	87,593,247	87,524,377	87,471,356	87,665,164
負債の部						
固定負債	3,191,907	3,188,109	3,673,082	3,564,467	3,545,773	3,469,350
長期借入金	0	0	0	0	0	0
長期未払金	339,989	320,970	884,467	806,631	728,795	654,476
退職給与引当金	2,851,919	2,867,140	2,788,615	2,757,836	2,816,978	2,814,874
長期前受金	0	0	0	0	0	0
流動負債	2,411,633	2,332,343	2,933,011	2,832,788	2,787,537	2,920,694
短期借入金	0	0	0	0	0	0
未払金	366,493	282,659	347,181	360,110	372,837	474,444
前受金	1,498,034	1,476,207	1,796,126	1,740,132	1,740,231	1,726,492
その他（預り金関係他）	547,107	573,477	789,705	732,545	674,469	719,758
負債の部合計	5,603,541	5,520,452	6,606,093	6,397,255	6,333,310	6,390,044
純資産の部						
基本金	81,788,786	83,781,528	85,608,609	85,740,009	85,738,603	86,237,232
第1号基本金	78,709,207	80,701,948	82,529,029	82,660,429	82,659,023	83,157,652
第2号基本金	0	0	0	0	0	0
第3号基本金	2,225,606	2,225,606	2,225,606	2,225,606	2,225,606	2,225,606
第4号基本金	853,973	853,973	853,973	853,973	853,973	853,973
繰越収支差額	△454,046	△2,633,515	△4,621,455	△4,612,887	△4,600,556	△4,962,112
純資産の部合計	81,334,741	81,148,012	80,987,154	81,127,122	81,138,046	81,275,120
負債及び純資産の部合計	86,938,282	86,668,465	87,593,247	87,524,377	87,471,356	87,665,164

【概況】

本学院は借入金ゼロの財政状態であり、長期的な財務の健全性を示す純資産構成比率も2023年度は92.7%と高く、2022年度の大学法人の全国平均（医歯系法人を除く）88.3%と比べても安定した財務基盤であることを示しています。また、短期的な財務の健全性を示す流動比率も同全国平均の263.2%よりも良好な461.3%となっており、長期・短期ともに安定した財務状態であるといえます。（財務比率については、『財務比率の推移』を参照）



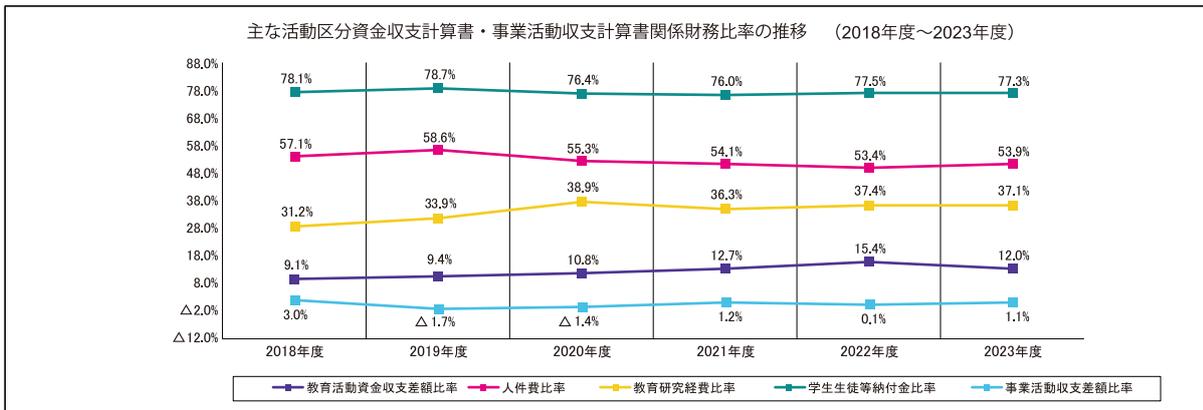
III. 財務の概要

6. 財務比率の推移

(1) 活動区分資金収支計算書・事業活動収支計算書関係財務比率

比率	算式	評価	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
1 教育活動資金収支差額比率	$\frac{\text{教育活動資金収支差額}}{\text{教育活動資金収入計}}$	↑	9.1%	9.4%	10.8%	12.7%	15.4%	12.0%
2 人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	↓	57.1%	58.6%	55.3%	54.1%	53.4%	53.9%
3 教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	↑	31.2%	33.9%	38.9%	36.3%	37.4%	37.1%
4 管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	↓	8.8%	8.3%	8.1%	8.2%	6.9%	7.3%
5 学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	～	78.1%	78.7%	76.4%	76.0%	77.5%	77.3%
6 事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	↑	3.0%	△1.7%	△1.4%	1.2%	0.1%	1.1%
7 経常収支差額比率	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	↑	2.9%	△0.8%	△2.4%	1.4%	2.2%	1.7%

<注> 評価について ↑:高い値が良い ↓:低い値が良い ～:どちらとも言えない

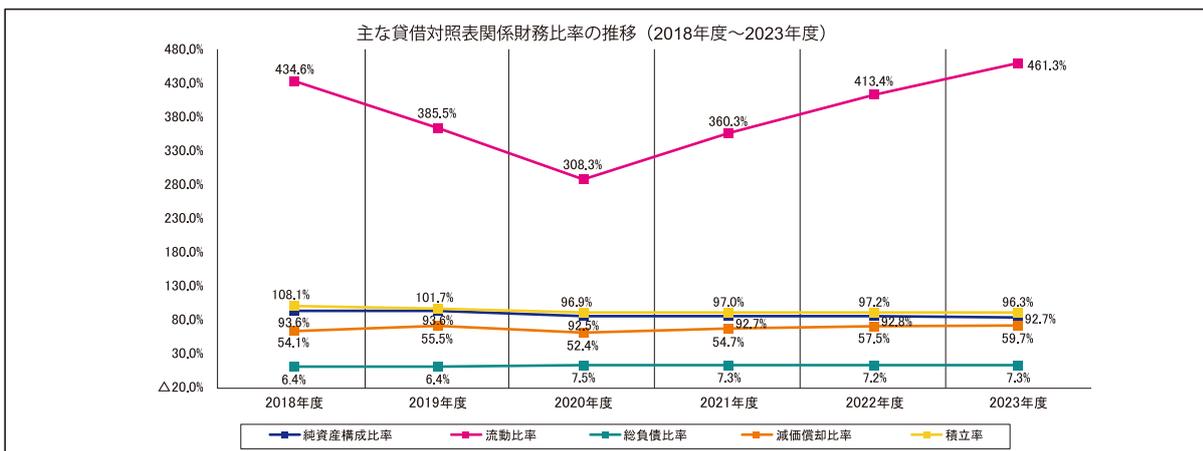


(2) 貸借対照表関係財務比率

比率	算式	評価	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
1 純資産構成比率	$\frac{\text{純資産}}{\text{負債+純資産}}$	↑	93.6%	93.6%	92.5%	92.7%	92.8%	92.7%
2 固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産}}$	↓	94.0%	95.7%	97.0%	95.3%	93.6%	91.3%
3 流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	↑	434.6%	385.5%	308.3%	360.3%	413.4%	461.3%
4 総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	↓	6.4%	6.4%	7.5%	7.3%	7.2%	7.3%
5 減価償却比率	$\frac{\text{減価償却累計額(図書を除く)}}{\text{減価償却資産取得価格(図書を除く)}}$	～	54.1%	55.5%	52.4%	54.7%	57.5%	59.7%
6 前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	↑	679.4%	588.2%	483.8%	571.4%	652.8%	764.6%
7 基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	↑	100.0%	100.0%	99.3%	99.3%	99.4%	99.4%
8 積立率	$\frac{\text{運用資産}}{\text{要積立額}}$	↑	108.1%	101.7%	96.9%	97.0%	97.2%	96.3%
9 運用資産余裕比率(年)	$\frac{\text{運用資産-外部負債}}{\text{事業活動支出}}$	↑	3.0	2.8	2.6	2.6	2.7	2.8

<注> 評価について ↑:高い値が良い ↓:低い値が良い ～:どちらとも言えない

「運用資産」=現金預金+特定資産+有価証券 「外部負債」=総負債-(退職給付引当金+前受金) 「要積立額」=減価償却累計額+退職給付引当金+第2号基本金+第3号基本金





7. その他

(1) 寄付金の状況

2023年度の寄付金活動は、皆様からの温かいご支援により、総額77,544千円のご寄付がありました。本学院の寄付金活動に対して、皆様の深いご理解とご協力に感謝し、厚く御礼申し上げます。ご支援いただきました寄付につきましては、ご指定いただいた目的に応じて活用させていただきます。

引き続き、本学院の生徒・学生支援および教育研究環境整備のために、寄付金活動を進めてまいりたいと考えています。今後ともご支援賜りますようお願い申し上げます。

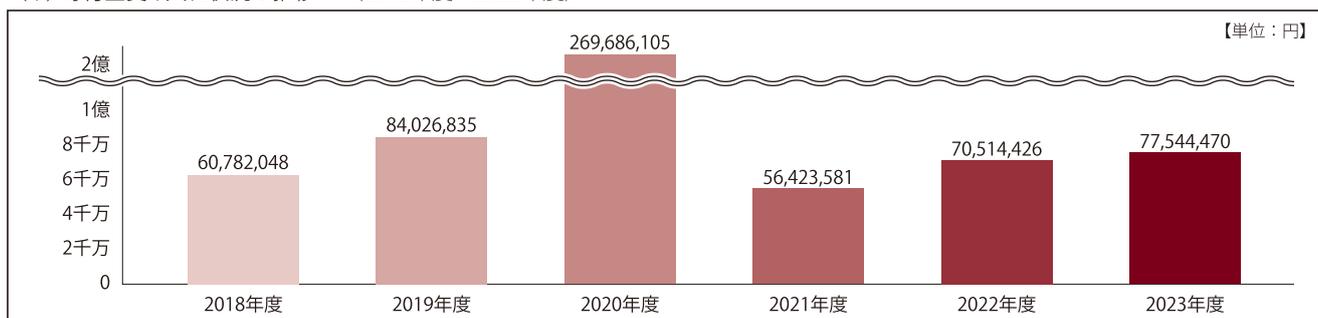
(ア) 2023年度寄付金受け入れ状況について 【単位：円】

分類	寄付項目	金額
一般寄付	教育振興資金	12,053,000
特別寄付	桃山学院和泉キャンパス新校舎建設寄付金	630,000
	桃山Go Green Project活動に関する支援寄付金	33,000
	桃山学院大学 スタートアップ支援寄付金	426,000
	桃山学院 学生・生徒団体等サポート寄付金	2,965,000
	桃山学院 社会貢献活動支援寄付金	46,000
	桃山学院 奨学寄付金	288,703
	その他の 用途指定 寄付金	施設・設備関係等 課外活動関係等 教育・研究関係等
現物寄付	図書等	7,362,945



桃山学院大学ビジネスデザイン学部

(イ) 寄付金受け入れ状況の推移 (2018年度～2023年度)



(ウ) 本学院へのご支援に基づく活動の概況について

①桃山学院 大学・教育大学・高等学校・中学校 教育振興資金…………… 342 件
 桃山学院大学 3,094,000 円／ 桃山学院教育大学 156,000 円／ 桃山学院高等学校 4,048,000 円／ 桃山学院中学校 4,755,000 円
 各学校の施設整備や既存校舎改修などの教育環境整備等の活動を実施しました。



桃山学院大学



桃山学院教育大学



桃山学院高等学校



桃山学院中学校

②桃山学院和泉キャンパス新校舎建設寄付金…………… 6 件 630,000 円
 2024年度の竣工に向けて、新校舎の建設に着手しました。

③桃山 Go Green Project 活動に関する支援寄付金…………… 1 件 33,000 円
 使い捨てカイロを再利用した水質浄化等、環境保全ボランティア活動を実施しました。

④桃山学院 学生・生徒団体等サポート寄付金…………… 79 件 2,965,000 円
 体育会系の団体としましては、アメリカンフットボール部、ゴルフ部、硬式野球部、ハンドボール部、水泳部およびアーチェリー部、文化系の団体としましては、よさこい連 真輝・SANAGI および吹奏楽部に対してご寄付を賜り、各団体において活動に必要な器具や消耗品の購入等を実施しました。

⑤桃山学院 社会貢献活動支援寄付金…………… 25 件 46,000 円
 インド異文化・ボランティア体験セミナーの活動等を実施しました。

⑥桃山学院 奨学寄付金…………… 39 件 288,703 円
 成績優秀者や交換留学生支援等のために奨学金の支給を実施しました。



III. 財務の概要

(2) 補助金の状況

経常費補助金など恒常的に交付される補助金の他、以下の補助金が交付されました。

【単位：円】

補助金の種類	金額	単位
令和5年度授業料等減免費交付金	637,638,300	桃山学院大学
	101,680,700	桃山学院教育大学
令和4年度人材育成推進事業費補助金	19,287,972	桃山学院大学
令和5年度大学・高専成長分野転換支援基金助成金	8,628,000	桃山学院大学
令和5年度大阪府私立学校物価高騰対策一時支援金	1,464,000	桃山学院高等学校
	480,000	桃山学院中学校

(3) 有価証券の状況

(ア) 総括表

【単位：円】

種類	当年度（令和6年3月31日）		
	貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	400,000,000	400,800,000	800,000
（うち満期保有目的の債券）	(400,000,000)	(400,800,000)	(800,000)
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	7,306,694,740	6,972,622,090	△334,072,650
（うち満期保有目的の債券）	(7,306,694,740)	(6,972,622,090)	(△334,072,650)
合計	7,706,694,740	7,373,422,090	△333,272,650
（うち満期保有目的の債券）	(7,706,694,740)	(7,373,422,090)	(△333,272,650)
時価のない有価証券	24,000,000		
有価証券合計	7,730,694,740		

(イ) 明細表

【単位：円】

種類	当年度（令和6年3月31日）		
	貸借対照表計上額	時価	差額
債券	7,706,694,740	7,373,422,090	△333,272,650
株式	—	—	—
投資信託	—	—	—
貸付信託	—	—	—
合計	7,706,694,740	7,373,422,090	△333,272,650
時価のない有価証券	24,000,000		
有価証券合計	7,730,694,740		

(4) 借入金の状況

借入金はありません。

(5) 学校債の状況

学校債はありません。

(6) 収益事業の状況

収益事業は行っていません。

(7) 関連当事者との取引の状況

(ア) 関連当事者との取引

関連当事者との取引の内容は、次のとおりです。

【単位：円】

属性	役員、法人等の名称	住所	資本金又は出資金	事業内容又は職業	議決権の所有割合	関係内容		取引の内容	取引金額	勘定科目	期末残高
						役員等の兼任等	事実上の関係				
理事	山田 陽彦	—	—	—	—	—	法務 アドバイス	法務アドバイス料の支払（注1）	1,980,000	管.支払手数料支出	—

取引条件及び取引条件の決定方針等

（注1）学内各種委員会等の法務アドバイス料については、専門性に加え、顧問弁護士との過去の契約金額実績を勘案した上で決定しています。



(イ) 学校法人の出資による会社に係る事項

当学校法人の出資割合が総出資額の2分の1以上である会社の状況は次のとおりです。

名称	株式会社アンデレパートナーズ			
事業内容	建物内外の保守管理・清掃業務、警備業、食堂運営及び情報処理の運用管理支援等			
出資金	9,000,000円	90株		
学校法人の出資状況	9,000,000円	90株	総出資金額に占める割合 100%	
出資の状況	平成28年3月15日	9,000,000円	90株	
当期中に学校法人が受け入れた配当及び寄附の金額並びに学校法人との資金、取引等の状況				【単位：円】
	当該会社からの受入額	特別寄付金	12,000,000	
		賃借料等	3,564,660	
		出向者給与	6,000,000	
	当該会社への支払額	業務委託費等	749,400,127	
	【単位：円】			
	期首残高	資金支出等	資金収入等	期末残高
当該会社への出資金等	9,000,000	0	0	9,000,000
当該会社への未払金	23,867,000	23,867,000	65,231,714	65,231,714
当該会社への未収入金	31,300	75,100	31,300	75,100
保証債務	学校法人は当該会社について債務保証を行っていない。			

(8) 学校法人間の財務取引

学校法人間取引は行っておりません。

8. 経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策

本学院は連続貸借対照表の概況でも述べたとおり、ストックの面で安定した経営状況であると言えます。一方、フローの面でも2021年度からの桃山学院大学・桃山学院教育大学の入学定員数増や2022年度に桃山学院大学ビジネスデザイン学部が完成年度を迎えたことにより、学生生徒等納付金が増加し、2023年度の経常収支差額比率は1.7%を計上するなど、安定した収支状況となります。

2025年4月には、桃山学院大学と桃山学院教育大学を統合し、現在の桃山学院教育大学人間教育学部を桃山学院大学の新たな学部として設置します※。

2024年度はその準備期間となり、補助金や寄付金など外部資金の獲得に取り組むことで、さらに安定した財務基盤の確立に繋げてまいります。

※設置計画は現在認可申請中であり、状況などにより内容に変更が生じる場合があります。



9. 定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分 (法人全体)

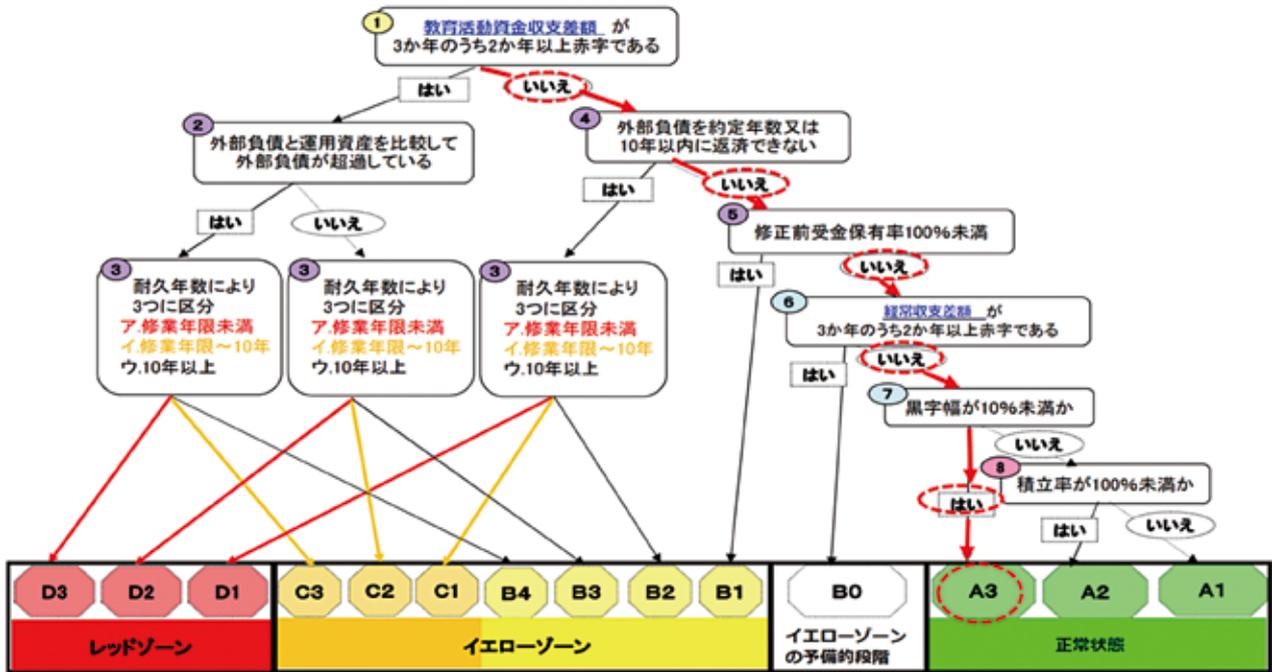
以下のフローチャートは、私立学校の経営状態を把握・分析するための資料として、日本私立学校振興・共済事業団が提供する「定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分」です。

(引用: https://www.shigaku.go.jp/files/s_center_shihyo27-1.pdf)

これによると、2023年度の本学の経営状態は2022年度に続き「A3」に区分され、正常な経営状態であることが分かります。なお、2021年度の区分が「B0」になった要因としては、2020年度に新型コロナウイルスの対応として、総額5億3,644万円を計上し、大規模な感染予防対策、家計急変者への経済的支援および大学生に対する緊急修学支援金の支給を実施したこと、2019年度に聖テモテ館建設に伴い既存建物の撤去費が発生したことなどの理由により経常収支差額が支出超過になったためです。

(1) 2023年度の経営状態区分について

2023年度の本学院のフローチャートを赤色矢印で示しています。



(2) 2021～2023年度の経営判断指標と経営状態区分について

2023年度の本学院のフローチャートを赤色矢印で示しています。

【金額単位：百万円】

経営判断指標とその基準	2021年度	2022年度	2023年度
①教育活動資金収支差額 ※1 (3か年のうち2か年以上赤字である)	1,531 いいえ	1,877 いいえ	1,495 いいえ
④外部負債 ※2 (約定年数又は10年以内に返済できない)	1,167 いいえ	1,102 いいえ	1,129 いいえ
⑤修正前受金保有率 ※3 (100%未満)	1921% いいえ	2014% いいえ	2079% いいえ
⑥経常収支差額 ※4 (3か年のうち2か年以上赤字である)	165 はい	264 いいえ	211 いいえ
⑦黒字幅 (経常収支差額が10%未満か)	1.4% はい	2.2% はい	1.7% はい
⑧積立率 ※5 (積立率が100%未満か)	97.0% いいえ	97.2% いいえ	96.3% いいえ
区 分	B0	A3	A3

※1 教育活動資金収支差額＝活動区分資金収支計算書の「教育活動による資金収支」区分の収支差額

※2 外部負債＝借入金+学校債+未払金+手形債務

※3 修正前受金保有率＝運用資産(現金預金+特定資産+有価証券)÷前受金

※4 経常収支差額＝経常収入(教育活動収入計+教育活動外収入計)－経常支出(教育活動支出計+教育活動外支出計)

※5 積立率＝運用資産÷要積立額(減価償却累計額+退職給与引当金+2号基本金+3号基本金)



IV. データで見る桃山学院

1. 入学定員・収容定員・入学者数・在籍者数 (2023年5月1日現在)

学部	学科	入学定員(名)	収容定員(名)	入学年次				入学者数	編・転入学者数	在籍者数	
				1年次	2年次	3年次	4年次				
桃山学院大学	国際教養	英語・国際文化	275	1,100	275	275	275	275	242	7	1,069
	社会	社会	260	1,040	260	260	260	260	297	6	1,137
		ソーシャルデザイン	100	400	100	100	100	100	94	4	387
	法	法律	200	800	200	200	200	200	209	3	823
	経済	経済	360	1,440	360	360	360	360	378	3	1,513
	経営	経営	295	1,110	295	295	295	225	359	6	1,224
	ビジネスデザイン	ビジネスデザイン	200	670	200	200	200	70	173	—	661
	計		1,690	6,560					1,752	29	6,814
交換留学生		—	—	—				—	—	39	

※2019年度 経営学部ビジネスデザイン学科開設
 ※2021年度 ビジネスデザイン学部ビジネスデザイン学科設置(経営学部ビジネスデザイン学科より改組)
 ※2022年度 社会学部学科名称変更(社会学部学科→ソーシャルデザイン学科)(2年次以上は社会学部)

研究科	専攻	入学定員(名)	収容定員(名)	入学者数		在籍者数
				入学年次	入学年次	
桃山学院大学 大学院 博士前期課程	文学	言語・文化	10	20	4	5
	社会学	応用社会学	10	20	6	12
	経済学	応用経済学	10	20	2	13
	経営学	経営学	10	20	3	14
	計		40	80	15	44
交換留学生		—	—	—	3	
研究生		—	—	—	1	
桃山学院大学 大学院 博士後期課程	文学	比較文化学	4	12	0	0
	社会学	応用社会学	3	9	0	6
	経済学	応用経済学	3	9	2	11
	経営学	経営学	3	9	0	1
	計		13	39	2	18
研究生		—	—	—	0	

学部	学科	入学定員(名)	収容定員(名)	入学年次				入学者数	編・転入学者数	在籍者数	
				1年次	2年次	3年次	4年次				
桃山学院教育大学	人間教育	人間教育	270	985	270	270	270	175	243	0	885

※2020年度 教育学部教育学科名称変更(教育学部教育学科→人間教育学部人間教育学科)

課程・学科	入学定員(名)	収容定員(名)	入学者数	在籍者数
桃山学院中学校	120	360	128	367
桃山学院高等学校	760	2,280	722	1,907

2. 収容定員充足率 (毎年度5月1日現在)

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
桃山学院大学	107.8%	104.2%	104.4%	104.6%	103.9%
桃山学院大学大学院/博士前期課程	46.3%	48.8%	56.3%	67.5%	55.0%
桃山学院大学大学院/博士後期課程	33.3%	33.3%	48.7%	56.4%	46.2%
桃山学院教育大学	93.3%	95.1%	97.7%	95.2%	89.8%

3. 入試状況 (2020年度～2024年度入試)

■ 桃山学院大学 <全制度合計(編・転入学除く)>

学部	学科	2020年度					2021年度					2022年度					2023年度					2024年度					
		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率	
国際教養	英語・国際文化	募集人員	275	275	275	275	275	275	275	275	275	275	275	275	275	275	275	275	275	275	275	275	275	275	275	275	275
		志願者数	4,120	2,124	1,700	1,252	1,179	4,263	3,354	3,110	1,995	1,909	4,191	3,265	3,058	1,963	1,869	929	1,154	926	889	842	4,263	3,354	3,110	1,995	1,909
		受験者数	4,021	2,076	1,645	1,209	1,156	4,191	3,265	3,058	1,963	1,869	4,191	3,265	3,058	1,963	1,869	929	1,154	926	889	842	4,191	3,265	3,058	1,963	1,869
		合格者数	1,269	1,153	1,254	1,105	950	929	1,154	926	889	842	929	1,154	926	889	842	929	1,154	926	889	842	929	1,154	926	889	842
		倍率	3.2	1.8	1.3	1.1	1.2	4.5	2.8	3.3	2.2	2.2	4.5	2.8	3.3	2.2	2.2	4.5	2.8	3.3	2.2	2.2	4.5	2.8	3.3	2.2	2.2
		入学者数	303	284	237	242	283	218	325	318	359	294	218	325	318	359	294	218	325	318	359	294	218	325	318	359	294
社会	社会	募集人員	260	260	260	260	260	260	260	260	260	260	260	260	260	260	260	260	260	260	260	260	260	260	260	260	260
		志願者数	4,116	2,622	2,859	1,673	1,792	3,17	1,623	899	769	1,121	3,17	1,623	899	769	1,121	3,17	1,623	899	769	1,121	3,17	1,623	899	769	1,121
		受験者数	4,044	2,557	2,805	1,636	1,757	2,85	1,566	872	749	1,015	2,85	1,566	872	749	1,015	2,85	1,566	872	749	1,015	2,85	1,566	872	749	1,015
		合格者数	1,079	1,118	1,135	1,086	610	145	975	763	655	798	145	975	763	655	798	145	975	763	655	798	145	975	763	655	798
		倍率	3.7	2.3	2.5	1.5	2.9	2.0	1.6	1.1	1.1	1.3	2.0	1.6	1.1	1.1	1.3	2.0	1.6	1.1	1.1	1.3	2.0	1.6	1.1	1.1	1.3
		入学者数	248	295	285	297	238	73	221	202	173	217	73	221	202	173	217	73	221	202	173	217	73	221	202	173	217
社会	ソーシャルデザイン※1	募集人員	100	100	100	100	100	1,490	1,690	1,690	1,690	1,490	1,690	1,690	1,690	1,690	1,490	1,690	1,690	1,690	1,690	1,490	1,690	1,690	1,690	1,690	
		志願者数	1,094	525	377	452	579	23,110	15,682	14,396	9,903	10,174	23,110	15,682	14,396	9,903	10,174	23,110	15,682	14,396	9,903	10,174	23,110	15,682	14,396	9,903	10,174
		受験者数	1,064	505	350	437	560	22,602	15,278	14,061	9,675	9,847	22,602	15,278	14,061	9,675	9,847	22,602	15,278	14,061	9,675	9,847	22,602	15,278	14,061	9,675	9,847
		合格者数	416	410	303	376	330	6,493	7,608	7,176	6,675	5,273	6,493	7,608	7,176	6,675	5,273	6,493	7,608	7,176	6,675	5,273	6,493	7,608	7,176	6,675	5,273
		倍率	2.6	1.2	1.2	1.2	1.7	3.5	2.0	2.0	1.4	1.9	3.5	2.0	2.0	1.4	1.9	3.5	2.0	2.0	1.4	1.9	3.5	2.0	2.0	1.4	1.9
		入学者数	88	101	88	94	102	1,476	1,825	1,716	1,752	1,706	1,476	1,825	1,716	1,752	1,706	1,476	1,825	1,716	1,752	1,706	1,476	1,825	1,716	1,752	1,706
法	法律	募集人員	200	200	200	200	200	3,425	1,646	1,901	1,203	1,222	3,425	1,646	1,901	1,203	1,222	3,425	1,646	1,901	1,203	1,222	3,425	1,646	1,901	1,203	1,222
		志願者数	3,425	1,613	1,856	1,178	1,184	3,345	1,613	1,856	1,178	1,184	3,345	1,613	1,856	1,178	1,184	3,345	1,613	1,856	1,178	1,184	3,345	1,613	1,856	1,178	1,184
		受験者数	992	1,000	1,134	1,030	796	992	1,000	1,134	1,030	796	992	1,000	1,134	1,030	796	992	1,000	1,134	1,030	796	992	1,000	1,134	1,030	796
		合格者数	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34
		倍率	3.4	1.6	1.6	1.1	1.5	3.4	1.6	1.6	1.1	1.5	3.4	1.6	1.6	1.1	1.5	3.4	1.6	1.6	1.1	1.5	3.4	1.6	1.6	1.1	1.5
		入学者数	191	199	209	209	214	191	199	209	209	214	191	199	209	209	214	191	199	209	209	214	191	199	209	209	214
経済	経済	募集人員	360	360	360	360	360	5,775	3,788	3,550	2,559	2,372	5,775	3,788	3,550	2,559	2,372	5,775	3,788	3,550	2,559	2,372	5,775	3,788	3,550	2,559	2,372
		志願者数	5,652	3,696	3,475	2,503	2,306	5,652	3,696	3,475	2,503	2,306	5,652	3,696	3,475	2,503	2,306	5,652	3,696	3,475	2,503	2,306	5,652	3,696	3,475	2,503	2,306
		受験者数	1,663	1,798	1,661	1,534	947	1,663	1,798	1,661	1,534	947	1,663	1,798	1,661	1,534	947	1,663	1,798	1,661	1,534	947	1,663	1,798	1,661	1,534	947
		合格者数	355	400	377	378	358	355	400	377	378	358	355	400	377	378	358	355	400	377	378	358	355	400	377	378	358
		倍率	3.4	2.1	2.1	1.6	2.4	3.4	2.1	2.1	1.6	2.4	3.4	2.1	2.1	1.6	2.4	3.4	2.1	2.1	1.6	2.4	3.4	2.1	2.1	1.6	2.4
		入学者数	355	400	377	378	358	355	400	377	378	358	355	400	377	378	358	355	400	377	378	358	355	400	377	378	358

※1 2022年度 社会学部学科より名称変更。
 ※2 2021年度 ビジネスデザイン学部ビジネスデザイン学科設置(経営学部ビジネスデザイン学科より改組)



IV. データで見る桃山学院

■ 桃山学院大学大学院 <全入試制度合計（秋入学除く）>

研究科・課程	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	研究科・課程	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度			
文学	募集人員	10	10	10	10	10	文学	募集人員	10	10	10	10	10	
	志願者数	3	7	2	5	1		志願者数	8	12	16	5	6	
	受験者数	3	7	2	5	1		受験者数	8	12	15	5	6	
	合格者数	2	3	2	4	1		合格者数	7	8	9	3	4	
	倍率	1.5	2.3	1.0	1.3	1.0		倍率	1.1	1.5	1.7	1.7	1.5	
	入学者数	2	2	2	4	1		入学者数	5	5	8	2	3	
	募集人員	4	4	4	4	4		経済学	募集人員	3	3	3	3	3
	志願者数	0	0	0	0	0			志願者数	3	5	1	2	1
	受験者数	0	0	0	0	0			受験者数	3	5	1	2	1
	合格者数	0	0	0	0	0			合格者数	3	5	1	2	1
倍率	-	-	-	-	-	倍率	1.0		1.0	1.0	1.0	1.0		
入学者数	0	0	0	0	0	入学者数	3		5	1	2	1		
募集人員	10	10	10	10	10	社会学	募集人員		10	10	10	10	10	
志願者数	12	28	33	18	30		志願者数		9	17	22	7	14	
受験者数	11	27	32	16	30		受験者数		9	15	20	5	13	
合格者数	8	12	8	7	16		合格者数		5	8	11	4	8	
倍率	1.4	2.3	4.0	2.3	1.9		倍率	1.8	1.9	1.8	1.3	1.6		
入学者数	7	8	6	6	11		入学者数	3	8	9	3	6		
募集人員	3	3	3	3	3		経営学	募集人員	3	3	3	3	3	
志願者数	1	3	0	0	2			志願者数	0	0	0	0	0	
受験者数	1	3	0	0	2			受験者数	0	0	0	0	0	
合格者数	1	3	0	0	1			合格者数	0	0	0	0	0	
倍率	1.0	1.0	-	-	2.0	倍率		-	-	-	-	-		
入学者数	0	3	0	0	1	入学者数		0	0	0	0	0		
募集人員	40	40	40	40	40	合計		募集人員	40	40	40	40	40	
志願者数	32	64	73	35	51			志願者数	32	64	73	35	51	
受験者数	31	61	69	31	50			受験者数	31	61	69	31	50	
合格者数	22	31	30	18	29			合格者数	22	31	30	18	29	
倍率	1.4	2.0	2.3	1.7	1.7		倍率	1.4	2.0	2.3	1.7	1.7		
入学者数	17	23	25	15	21		入学者数	17	23	25	15	21		
募集人員	13	13	13	13	13		博士前期	募集人員	13	13	13	13	13	
志願者数	4	8	1	2	3			志願者数	4	8	1	2	3	
受験者数	4	8	1	2	3			受験者数	4	8	1	2	3	
合格者数	4	8	1	2	2			合格者数	4	8	1	2	2	
倍率	1.0	1.0	1.0	1.0	1.5	倍率		1.0	1.0	1.0	1.0	1.5		
入学者数	3	8	1	2	2	入学者数		3	8	1	2	2		

■ 桃山学院教育大学 <全制度合計（編・転入学除く）>

学部・学科	課程※2	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
小学校教育	募集人員	75	140	140	120	120
	志願者数	1,136	982	696	415	683
	受験者数	1,077	946	684	413	655
	合格者数	427	673	614	363	351
	倍率	2.5	1.4	1.1	1.1	1.9
人間教育・人間教育※1	入学者数	81	135	101	101	123
	募集人員	50	50	50	30	30
	志願者数	229	143	134	63	99
	受験者数	219	141	130	63	97
	合格者数	137	107	119	54	88
健康・スポーツ教育	倍率	1.6	1.3	1.1	1.2	1.1
	入学者数	32	21	28	23	34
	募集人員	50	80	80	120	120
	志願者数	555	440	368	296	340
	受験者数	533	422	354	291	333
合計	合格者数	226	265	281	253	223
	倍率	2.4	1.6	1.3	1.2	1.5
	入学者数	65	93	118	119	127
	募集人員	175	270	270	270	270
	志願者数	1,920	1,565	1,198	774	1,122
合計	受験者数	1,829	1,509	1,168	767	1,085
	合格者数	790	1,045	1,014	670	662
	倍率	2.3	1.4	1.2	1.1	1.6
	入学者数	178	249	247	243	284

■ 桃山学院中学校高等学校

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	
中学校	募集人員	120	120	120	120	120
	志願者数	478	600	564	560	620
	受験者数	345	452	430	418	476
	合格者数	255	283	280	286	277
	倍率	1.4	1.6	1.5	1.5	1.7
高等学校	入学者数	121	124	122	128	126
	募集人員	400	400	400	400	400
	志願者数	2,059	1,660	1,770	1,922	1,917
	受験者数	2,047	1,642	1,729	1,888	1,874
	合格者数	1,985	1,624	1,707	1,868	1,846
合計	倍率	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
	入学者数	630	433	575	609	581

※1:2020年度より教育学部教育学科から人間教育学部人間教育学科へ。

※2:2021年度より小学校教育コースから小学校教育課程、幼児保育コースから幼児教育課程、健康・スポーツ教育コースから健康・スポーツ教育課程へ。



4. 就職状況 (2023年度)

■ 桃山学院大学

□実績 (対象：留年生を除く4年次生のみ) (2024年5月15日現在) ※()内は2022年度確定数字

・卒業生数 [a] ……………	1,226名 (1,295名)	・進学者数 [d] ……………	34名 (20名)
・就職希望者数 [b] ……………	1,113名 (1,182名)	(うち、大学院進学者数)	20名 (8名)
・就職決定者数 (自営含む) [c] ……	1,102名 (1,170名)	・就職決定率 (分母：希望者) [c/b]	99.0% (99.0%)
		・就職決定率 (分母：卒業者) [c/a]	89.9% (90.3%)

□主な就職先

【建設業】

(株)スペース、奥村組土木興業(株)、(株)銭高組、日本国土開発(株)、積水ハウス(株)、大和ハウス工業(株)、セキスイハイム近畿(株)、(株)ミライト・ワン、日本電通(株)、日本コムシス(株)、日本ファシリオ(株)、川崎設備工業(株)、新菱冷熱工業(株)

【製造業】

ケンコーマヨネーズ(株)、シノプフーズ(株)、永大産業(株)、立川プラインド工業(株)、三浦工業(株)、ホームコ(株)、BIG DAISHOWA (株)、(株)帝国電機製作所、(株)西島製作所、フジテック(株)、SMC (株)、大同工業(株)、理想科学工業(株)、ミネベアミツミ(株)、オムロン(株)、新明和工業(株)、タイガースポリマー(株)、キョーラク(株)

【卸売業】

(株)星屋、旭食品(株)、(株)神戸物産、(株)日本アクセス、(株)スリーポンド、大陽日酸ガス&ウエルディング(株)、アルフレッサ(株)、(株)ジーシー、高圧ガス工業(株)、丸藤シートパイル(株)、モリテックスチール(株)、住商メタルワン鋼管(株)、ブリヂストンタイヤソリューションジャパン(株)、トヨタモビリティパーツ(株)、渡辺パイプ(株)、マツモト産業(株)、トラスコ中山(株)、(株)ジーネット、(株)ムトウ、(株)モリタ、村中医療器(株)、アボットメディカルジャパン合同会社、(株)日伝、(株)三菱電機ライフネットワーク、扶桑電通(株)、明治電機工業(株)、(株)日本電商、三菱電機インフォメーションネットワーク(株)、ダイワボウ情報システム(株)、(株)立花エレテック、(株)たけでん、(株)サンセイテクノス、岡本無線電機(株)、(株)カナデン、田中商事(株)

【小売業】

イオンリテール(株)、(株)オークワ、(株)カインズ、(株)コメリ、コーナン商事(株)、(株)ビームス、青山商事(株)、(株)しまむら、(株)パル、(株)ワールド、(株)ファーストリテイリング、ゲンキー(株)、まいばすけっと(株)、(株)万代、(株)ライフコーポレーション、(株)ロック・フィールド、(株)サイゼリヤ、スターバックスコーヒージャパン(株)、日本マクドナルド(株)、(株)ニトリ、(株)ロフト、(株)エディオン、(株)ヨドバシカメラ、(株)ヤマダホールディングス、ウエルシア薬局(株)、(株)アインファーマシーズ、(株)クスリのアオキ、(株)スギ薬局、(株)ココカラファインヘルスケア、(株)キタムラ

【金融・保険業】

(株)南都銀行、(株)紀陽銀行、(株)池田泉州銀行、(株)関西みらい銀行、(株)トマト銀行、(株)徳島大正銀行、(株)高知銀行、(株)東日本銀行、きのくに信用金庫、播州信用金庫、大阪シティ信用金庫、大阪厚生信用金庫、大阪信用金庫、大阪商工信用金庫、永和信用金庫、広島信用金庫、(株)オリエントコーポレーション、全国農業協同組合連合会愛媛県本部、大阪泉州農業協同組合、日新火災海上保険(株)、あいおいニッセイ同和損害保険(株)、いちよし証券(株)、野村證券(株)、岡三証券(株)

【不動産業】

(株)穴吹工務店、サンヨーホームズ(株)、東急リバブル(株)、三井住友トラスト不動産(株)、積水ハウス不動産関西(株)、(株)長谷工コミュニティ、(株)共立メンテナンス

【運輸・通信業】

西日本旅客鉄道(株)、四国旅客鉄道(株)、南海電気鉄道(株)、大阪市高速電気軌道(株)、福山通運(株)、日本通運(株)、NX・NPロジスティクス(株)、センコー(株)、(株)サカイ引越センター、(株)辰巳商会、全日本空輸(株)、日本航空(株)、東武トップツアーズ(株)、(株)JTB、(株)日新、佐川グローバルロジスティクス(株)、ANA関西空港(株)、ANAエアポートサービス(株)、日本郵便(株)

【教育・マスコミ・公益・その他サービス業】

関西電力(株)、大阪府教育庁、堺市教育委員会、(株)菱友システムズ、クオリカ(株)、伊藤忠テクノソリューションズ(株)、Sky(株)、(株)シーイーシー、(株)テラスカイ、(株)NSD、三菱総研DCS(株)、三井E&Sシステム技研(株)、(株)エヌアイディ、日本情報産業(株)、(株)DTS、SCSK Minorソリューションズ(株)、(株)ソフトウェア・サービス、(株)ミロク情報サービス、NCS&A(株)、(株)アイネス、日本電子計算(株)、ディップ(株)、(株)ビケンテクノ、イオンデパート(株)、日本空調サービス(株)、パーソルキャリア(株)、総合警備保障(株)、セコム(株)、NECマネジメントパートナー(株)、(株)ディー・エヌ・エー、JRAシステムサービス(株)、(株)ソラスト、パリュエコマース(株)、(株)船井総合研究所、(株)ロイヤルホテル、(一財)休暇村協会、(株)ホテルグランヴィア大阪、東急リゾーツ&ステイ(株)、(株)ラウンドワン、日本年金機構、(独)自動車事故対策機構、日本弁護士連合会、(株)レンタルのニッケン、(株)イチネン、(株)日立ビルシステム

【医療・福祉関係】

(医)敬寿会、(医)大潤会、(社)医警和会、(福)四恩学園、(福)大阪市社会福祉協議会、(福)羽曳野市社会福祉協議会、(福)八尾市社会福祉協議会、(福)自立支援協会、(福)協同福祉会、(福)兵庫県社会福祉事業団、(福)神戸福祉会、(福)おおとり福祉会、(福)いずみ野福祉会、(福)そらび会、(福)大阪府障害者福祉事業団、(福)高津学園

【公務】

国家公務員 (一般職)、国税専門官、自衛隊、法務省専門職員、大阪府庁、和歌山県庁、江東区役所、大阪市役所、堺市役所、岸和田市役所、豊中市役所、吹田市役所、貝塚市役所、河内長野市役所、和泉市役所、柏原市役所、東大阪市役所、紀の川市役所、鳥取市役所、岩出市役所、阪南市役所、警視庁、大阪府警察本部、兵庫県警察本部、和歌山県警察本部、徳島県警察本部、東京消防庁、岸和田市消防本部、廿日市市消防本部

■ 桃山学院教育大学

□実績 (対象：留年生を除く4年次生のみ) (2024年5月15日現在) ※()内は2022年度確定数字

・卒業生数 [a] ……………	162名 (182名)	・進学者数 [d] ……………	4名 (3名)
・就職希望者数 [b] ……………	154名 (175名)	(うち、大学院進学者数)	4名 (3名)
(うち、教職希望者数) [a] ……	92名 (92名)	・就職決定率 (分母：希望者) [c/b]	100.0% (98.9%)
・就職決定者数 (自営含む) [c] ……	154名 (173名)	・就職決定率 (分母：卒業者) [c/a]	95.1% (95.1%)
(うち、教職決定者数) [β] ……	92名 (88名)	・教職決定率 (分母：希望者) [β/a]	100.0% (95.7%)

□主な就職先

【教職】

大阪府立小学校・特別支援学校(学級)・中学校、大阪市立小学校・中学校、鳥取県立小学校・中学校、高知県立小学校、北九州市立小学校・特別支援学校(学級)、堺市立小学校、愛媛県立中学校、北海道立小学校、横浜市立小学校・特別支援学校(学級)、兵庫県立小学校、大阪府豊能地区立・小学校、奈良県立小学校、和歌山県立小学校、京都市立小学校、徳島県立小学校、東京都立小学校、香川県立小学校、京都府立小学校、神戸市立小学校、滋賀県立小学校、川崎市立小学校、福岡市立小学校、佐賀県立小学校、愛知県立小学校、福岡県立特別支援学校(学級)、三重県立小学校、千葉県・千葉市立小学校、埼玉県立小学校、石川県立小学校、新潟市立小学校、静岡県立小学校、浜松市立小学校、広島県立中学校、岡山県立小学校、岡山市立小学校、島根県立特別支援学校(学級)、長崎県立小学校、沖縄県立小学校、京都教育大学付属京都小中学校、佐藤栄学園、瀬戸SOLAN小学校

【保育・福祉・医療関係】

(社)福旭ヶ丘学園きたの旭ヶ丘学園、(社)福大地福祉会遊こども園、(社)福みおつくし福祉会助松寮、(社)福愛徳園愛徳医療福祉センター、(社)福夢の樹よろこびの園、(社)福恵由福祉会信達こども園、(社)福あおば福祉会新岡岡センター保育園、(社)福あおば福祉会おおぞら夜間保育園、(社)福作陽保育園、(社)福地球の園こひつじ保育園、(社)福生長会ベルランド総合病院、(学)大阪初芝学園はつしば学園幼稚園、(学)新丸学園新宝珠幼稚園、(学)大阪YMCA学院YMCA松尾台こども園



IV. データで見る桃山学院

【企業等】

(株)コバコン、ピーエスフロント(株)、(株)ワールドコーポレーション、好川産業(株)、(株)幸田、(株)アクタス、大阪トヨペット(株)、加藤産業(株)、五十家グループ、(株)ライトオン、コーセー化粧品販売(株)、(株)エービーシー・マート、コーナン商事(株)、タマホーム(株)、(株)東京個別指導学院、個別指導塾ひのとり、日本情報産業(株)、SOMPO ケア(株)、(株)笑笑みりい、日本福祉サービス(株)、(株)エーススタイル、Nine Group、(株)ステキパリエーション、そらち南農業協同組合、北河内農業協同組合、堺市農業協同組合、(株)FEEL CONNECTION、(株)アドバンス、(株)ホテルグランヴィア大阪、姫路イーグレッツ、(株)エイジェック、レイスグループ、(株)イトマンスイミングスクール、T-LIFE パートナース(株)、関電プラント(株)、(株)TMJ

【公務】

奈良県 1 種警察行政職(事務職)、大阪府警察本部、刑務官、堺市職員(保育教諭)、豊中市職員(保育教諭)、岸和田市職員(保育士)、大阪市職員(保育士A)、(独)国立病院機構(保育士)

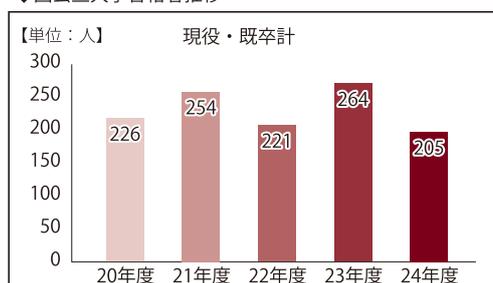
5. 大学入試合格状況 (2024 年度入試)

■ 桃山学院高等学校

※合格者数は延べ数で表記 (2024 年 4 月 12 日現在)

大学名	S英数/英数/文理/国際コース (11クラス)			中高一貫コース (3クラス)			総計	
	現役	既卒	合計	現役	既卒	合計	現役	既卒
国公立大学 合計	153	20	173	28	4	32	181	39
東京大	1		1				1	
京都大	9		9				9	
大阪大	7	4	11	2		2	9	4
北海道大	2	2	4				2	2
東北大	3		3	1		1	4	
名古屋大	1		1				1	
九州大	2		2				2	
神戸大	14		14				14	
大阪教育大	12		12	2		2	14	
京都工芸繊維大				1		1	1	
奈良教育大	1		1				1	
奈良女子大	2		2	1		1	3	
和歌山大	13	1	14	4		4	17	1
佐賀大(医-医)	1		1				1	
大阪公立大(医-医)	1		1	1		1	2	
大阪公立大(医-医以外)	19	5	24	5	1	6	24	6
その他の国公立大	65	8	74	11	3	14	76	11
私立大学 合計	755	127	882	215	17	232	970	144
関西大	72	25	97	25		25	97	25
関西学院大	88	5	93	29		29	117	5
同志社大	31	10	41	10		10	41	10
立命館大	57	10	67	10		10	67	10
京都産業大	5	1	6	1		1	6	1
近畿大	195	22	217	49	3	52	244	25
甲南大	10	1	11	2		2	12	1
龍谷大	69	2	71	20	14	34	89	16
早稲田大	5	5	10				5	5
慶心義塾大		2	2	1		1	1	2
東京理大	1	2	3				1	2
立教大	6		6	1		1	7	
桃山学院大	33		33	3		3	36	
その他の私立大	183	42	222	64		64	247	42
各省庁所管の大学校 合計	2	1	3	1		1	3	1
航空保安大学校				1		1	1	
防衛大学校	1	1	2				1	1
水産大学校	1		1				1	
海外大学 合計	4		4				4	
Taylor's University	2		2				2	
漢陽大学校	1		1				1	
淡江大学	1		1				1	

◆国公立大学合格者推移



◆国公立大学現役合格率推移

年度	現役国公立大学合格者数	卒業生数
22年度：27.7%	192	692
23年度：30.7%	221	721
24年度：35.5%	181	510



6. 国際交流 (2023 年度)

■ 桃山学院大学

国・地域	海外学術交流協定 大学数・機関数※1 (2024年3月現在)	海外留学 派遣者数※2 (桃山学院大学→海外)	外国人留学生 受入数※3 (海外→桃山学院大学)	国・地域	海外学術交流協定 大学数・機関数※1 (2024年3月現在)	海外留学 派遣者数※2 (桃山学院大学→海外)	外国人留学生 受入数※3 (海外→桃山学院大学)
中国	6	1	233	北 米	米国	7	1
韓国	5	21	15		カナダ	4	15
台湾	4	1	17	欧 州	英国	4	1
マレーシア	1		2		ドイツ	5	1
ベトナム	3		20		フランス	2	
インドネシア	2	2	5		オランダ	1	1
フィリピン	3	8	1		オーストリア	2	1
タイ	1	8	2		チェコ	1	
インド	1	3	1		ポーランド	1	
シンガポール		2			ロシア	1	
ミャンマー			3		イタリア	2	2
カンボジア	1	9			スペイン	2	1
アフリカ		5		フィンランド	2	2	
大洋州		16		中 東	トルコ	1	
オーストラリア	2			合 計	65	101(74)	333(319)
ニュージーランド	1						

※1:新規協定校のうち、2大学(タイ1、フィリピン1)は学内手続き(国際化推進会議承認)終了済、協定書締結作業中。
 ※2:各種留学・短期海外研修・海外インターンシップ、国際ボランティア等の派遣先国・地域(オンライン含む)
 ※3:正規課程留学生(在留資格申請中の者を含む)の出身国・地域、交換留学生・日本語プログラム研修生の派遣元大学の国・地域
 ※()内は2022年度実績

■ 桃山学院教育大学 (2024年3月現在)

<海外学術交流協定大学数・機関数>

国・地域	大学・機関数
カンボジア	1
韓国	1
カナダ	1
フィリピン	1
ニュージーランド	2

<海外研修実績>

プログラム名	期 間	派遣先	参加者数
フィリピン研修	2024/2/4~2/25	アジア・トリニティ大学(ケソン市)	4名
カンボジア研修	2024/2/12~2/22	プノンペン、シエムリアップ	3名
カナダ交換プログラム	2024/2/4~2/17	ウォータールー大学(オンタリオ州ウォータールー市)	1名
ヒューム先生と英語を楽しもう(セミプライベートレッスン)	前期・後期(3~4ヶ月)	学内	前期21名 後期5名

■ 桃山学院中学校高等学校

<海外留学・海外研修実績>

対 象	プログラム名	期 間	派遣先	参加者数
文理コース(文理クラス)・S英数コース・英数コース	米国聖公会関係学校交換留学制度	2023/8月~1年間	米国(テキサス州)	1名
	カナダ語学研修	中止※	-	-
	マレーシア研修	中止※	-	-
国際コース	カナダ短期留学	2023/7/3~7/24	カナダ(バンクーバー)	29名
	アジア研修	中止※	-	-
一貫コース	カナダ長期留学	2024/1月~1年間	ノバスコシア州・オンタリオ州・BC州	17名
高3文理コース(アスリートクラス)	イギリス研修	2023/7/3~7/10	イギリス	102名
中学生	修学旅行	2024/1/30~2/1	グアム	38名
	ニュージーランド研修	2024/3/11~3/25	ニュージーランド	31名

※新型コロナウイルス感染症のため

<受入実績>

種 別	国・地域	期 間	受入人数
米国聖公会関係学校交換留学留学生	アメリカ	2022.8~2023.7	2
正規課程留学生	中国・韓国	2023.4~2026.3	4

7. 学費・諸納付金 (2023 年度)

	項 目	金 額
桃山学院大学 (※1)	入学金	230,000円 入学年度のみ
	授業料	1,029,000円 年額
桃山学院大学大学院 (※2・3)	入学金	300,000円 入学年度のみ
	授業料	725,000円 年額
桃山学院教育大学 (※4)	入学金	230,000円 入学年度のみ
	授業料	1,150,000円 年額
桃山学院中学校 (※5)	入学金	200,000円 入学年度のみ
	授業料	620,000円 年額
桃山学院高等学校 (※6)	入学金	200,000円 入学年度のみ
	授業料	620,000円 年額

※1 その他委託徴収金として、教育後援会費、同窓会会費があります。
 ※2 各研究科博士前期課程(修士課程)は単位制学費の選択が可能です(社会人のみ)。
 ※3 その他委託徴収金として、同窓会会費があります。
 ※4 その他委託徴収金として、後援会費、学生会費、学生教育研究災害傷害保険、学研災付帯賠償責任保険があります。
 ※5 その他徴収費として、PTA会費、生徒会費、体験学習費、学年共同費、副教材・制服等の学校指定用品等があります。
 ※6 その他徴収費として、PTA会費、自治会費、修学旅行費、学年共同費、副教材・制服等の学校指定用品等があります。

法人事務局

和泉キャンパス

〒594-1198 大阪府和泉市まなび野 1-1



桃山学院大学

和泉キャンパス

〒594-1198 大阪府和泉市まなび野 1-1



大阪・あべのキャンパス

〒545-0011 大阪市阿倍野区昭和町 3-1-57



桃山学院教育大学

堺キャンパス

〒590-0114 大阪府堺市南区榎塚台 4-5-1



桃山学院中学校高等学校

昭和町キャンパス

〒545-0011 大阪市阿倍野区昭和町 3-1-64

